

18歳意識調査 「第45回 -18歳成人・18歳の価値観-」詳細版

日本財団 2022年3月24日

目次

調査概要	3
提示文章①	5
2022年4月からの成人年齢引き下げ認知	6
18歳で「成人」にふさわしい大人になったか	7
2022年4月以降の法律・ルール認知（正しい情報）	8
2022年4月以降の法律・ルール認知（間違っている情報）	9
2022年4月以降の法律・ルールについて もっと年齢を上げるべき法律・ルール	10
2022年4月以降の法律・ルールについて もっと年齢を下げるべき法律・ルール	11
成人年齢引き下げへの賛否	12
提示文章②	13
裁判員制度 認知	14
裁判員制度について 認知	16
「裁判員」選任年齢が18歳に引き下げられることへの賛否	18
裁判員として刑事裁判に参加したいか	20
裁判員に選ばれた場合、不安に感じる事	22
裁判員の選任年齢の引き下げに関して 十分な情報が提供されているか	24
裁判員の選任年齢の引き下げに関して より情報を提供してほしいか	26
提示文章③	28
直近1週間以内の情報源	29
ジェンダー意識・結婚子育て意識	30
消費行動	31
仕事観	32
プライベート	33
コミュニケーション	34
親の学歴・職業	35
回答者プロフィール	36

調査概要「18歳意識調査」 -18歳成人・18歳の価値観-

調査対象 全国の17歳～19歳男女

回答数 1000
※下記の割付にて回収

	17歳	18歳	19歳	計
男性	166	167	167	500
女性	166	167	167	500
計	332	334	334	1000

調査除外 下記の関係者は調査から除外
印刷業・出版業/マスコミ・メディア関連/
情報提供サービス・調査業/広告業

実施期間 2022年1月25日（火）～1月30日（日）

調査手法 インターネット調査

※注記：調査協力者がインターネット利用者に限られるなど、回答者に何らかの偏りが生じる可能性があり、必ずしも日本全体の17～19歳男女に妥当するものではない。

※注記：本編の図表の数値は、小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計しても必ずしも100%とはならない。

詳細

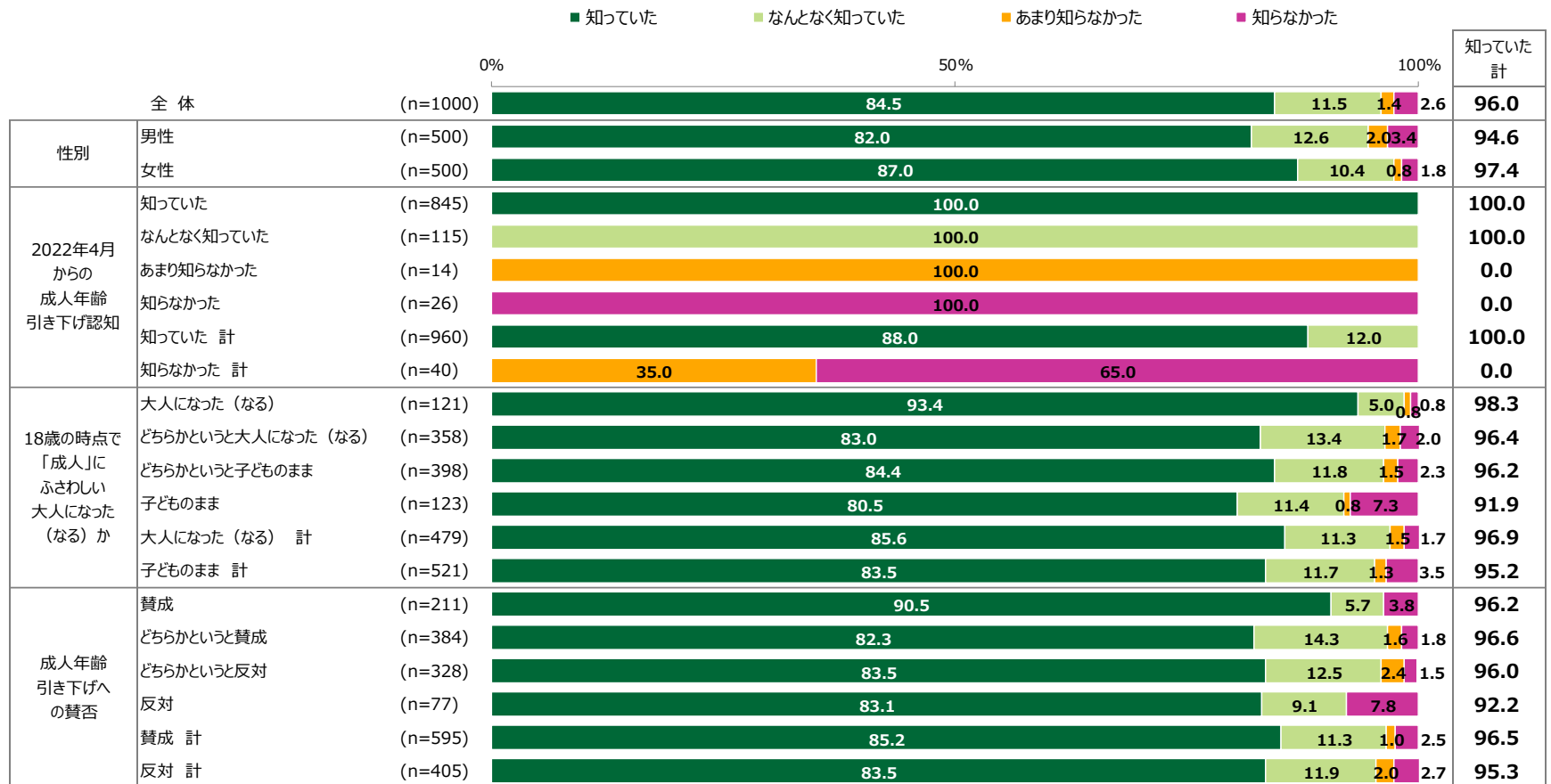
提示文章①

この調査では、最初に、日本における「成人年齢」について、あなたの認識や意見をお尋ねします。

2022年4月からの成人年齢引き下げ認知

- 成人年齢の引き下げについては、84.5%の人が「知っていた」と回答。「なんとなく知っていた」も含めると96.0%。

Q 民法の改正により、2022年4月から「成人」になる年齢が20歳から18歳に引き下げられます。あなたは、このことを知っていましたか。

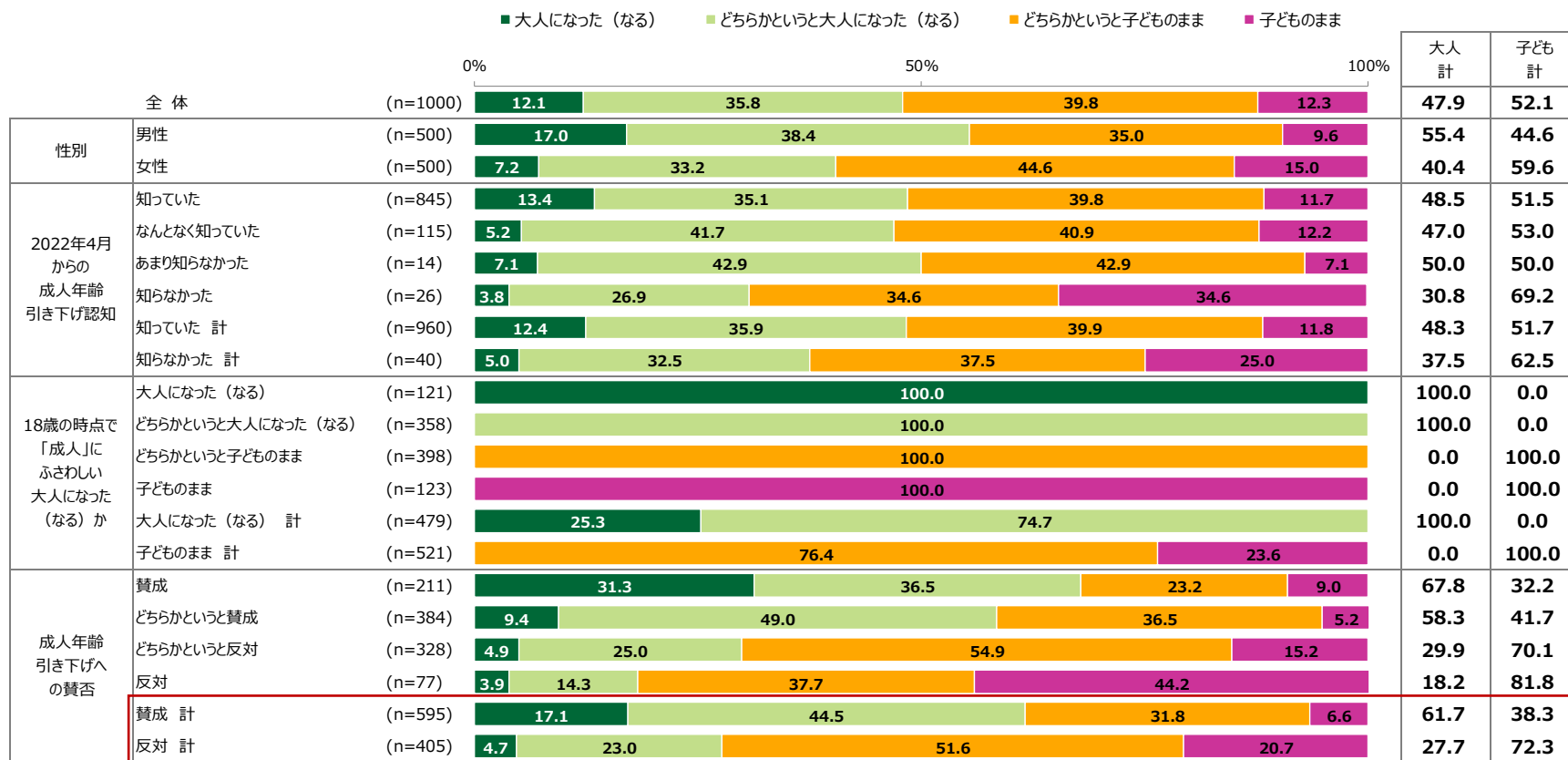


(※n=30未満は参考値として扱う)

18歳で「成人」にふさわしい大人になったか

- 自身が18歳の時点で「成人」にふさわしい大人になったと回答した人（大人計）は、47.9%。「子ども計」は52.1%。
- 成人年齢引き下げに賛成している層は「大人計」が61.7%。一方、反対している層は「子ども計」が72.3%。

Q あなた自身は、18歳の時点で、「成人」にふさわしい大人になったと思いますか。
19歳以上の人は18歳の時を思い出して、17歳以下の人は18歳になる時を想像して回答してください。



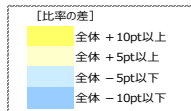
(※n=30未満は参考値として扱う)

2022年4月以降の法律・ルール認知（正しい情報）

- 2022年4月以降の法律・ルールの中で正しい情報を呈示したところ、「18歳から、親の同意が無くても契約ができるようになる」の正答率が63.6%で最も高い。ほか、「女性の結婚可能年齢が16歳から引き上げられ、18歳になる」（正答率59.4%）も正答者が半数を超える。
- 成人年齢引き下げについて「賛成」回答者は、いずれの内容も全体に比べて正答率が高い。

Q 2022年4月以降の法律・ルールとして、以下の各項目が正しいか、間違っているか選択してください。（各単一回答）

※「正答率」（「正しい」+「たぶん正しい」）を掲載



		18歳から、親の同意が無くても契約ができるようになる（携帯電話、ローン、家の賃借、クレジットカード作成など）	女性の結婚可能年齢が16歳から引き上げられ、18歳になる	18歳から、10年有効のパスポートを取得できるようになる	18歳から、公認会計士、司法書士、医師免許、薬剤師免許などの国家資格を取得できるようになる	18歳から、性同一性障害の人が性別の取扱いの変更の審判を受けられるようになる（裁判所の審判で戸籍上の性別を変更できる）
全体 (n=1000)		63.6	59.4	48.9	40.0	35.1
性別	男性 (n=500)	62.2	58.8	51.2	43.2	40.0
	女性 (n=500)	65.0	60.0	46.6	36.8	30.2
2022年4月からの成人年齢引き下げ認知	知っていた (n=845)	69.2	63.2	52.2	41.9	37.2
	なんとなく知っていた (n=115)	38.3	43.5	33.9	29.6	24.3
	あまり知らなかった (n=14)	14.3	28.6	14.3	35.7	21.4
	知らなかった (n=26)	19.2	23.1	26.9	26.9	23.1
	知っていた 計 (n=960)	65.5	60.8	50.0	40.4	35.6
	知らなかった 計 (n=40)	17.5	25.0	22.5	30.0	22.5
18歳の時点で「成人」にふさわしい大人になった（なる）か	大人になった（なる） (n=121)	65.3	66.1	54.5	49.6	42.1
	どちらかという大人になった（なる） (n=358)	66.2	59.8	48.6	38.8	35.8
	どちらかという子どものまま (n=398)	64.3	58.8	46.7	38.4	32.7
	子どものまま (n=123)	52.0	53.7	51.2	39.0	34.1
	大人になった（なる） 計 (n=479)	66.0	61.4	50.1	41.5	37.4
	子どものまま 計 (n=521)	61.4	57.6	47.8	38.6	33.0
成人年齢引き下げへの賛否	賛成 (n=211)	71.6	67.8	62.1	54.5	45.0
	どちらかという賛成 (n=384)	64.6	54.7	45.3	35.7	32.8
	どちらかという反対 (n=328)	59.1	61.0	45.1	37.2	33.5
	反対 (n=77)	55.8	53.2	46.8	33.8	26.0
	賛成 計 (n=595)	67.1	59.3	51.3	42.4	37.1
	反対 計 (n=405)	58.5	59.5	45.4	36.5	32.1

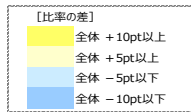
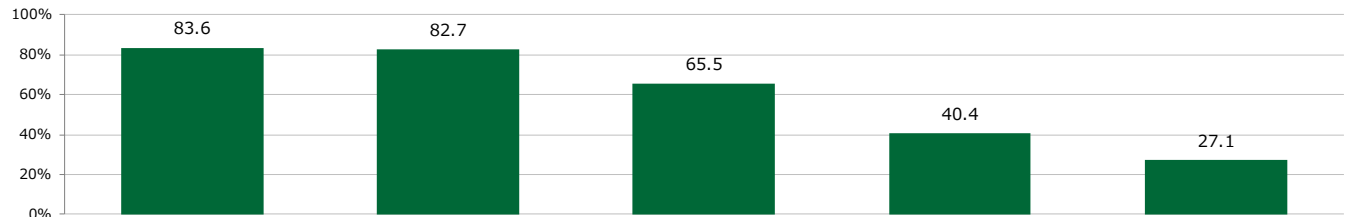
(※n=30未満は参考値として扱う)

2022年4月以降の法律・ルール認知（間違っている情報）

- 2022年4月以降の法律・ルールの中で間違っている情報を呈示したところ、「18歳から、喫煙をできるようになる」「18歳から、飲酒をできるようになる」は正答率がそれぞれ8割を超えた。また、「18歳から、競馬、競輪、オートレース、ボートレースの投票券を買えるようになる」は正答率65.5%で、半数以上が正解。

Q 2022年4月以降の法律・ルールとして、以下の各項目が正しいか、間違っているか選択してください。（各単一回答）

※「正答率」（「間違っている」+「たぶん間違っている」）を掲載



		18歳から、喫煙をできるようになる	18歳から、飲酒をできるようになる	18歳から、競馬、競輪、オートレース、ボートレースの投票券を買えるようになる	18歳から、養子を迎えることができるようになる	18歳から、大型・中型自動車運転免許を取得できるようになる
全体		(n=1000) 83.6	(n=1000) 82.7	(n=1000) 65.5	(n=1000) 40.4	(n=1000) 27.1
性別	男性	(n=500) 81.0	(n=500) 79.8	(n=500) 64.8	(n=500) 38.2	(n=500) 29.2
	女性	(n=500) 86.2	(n=500) 85.6	(n=500) 66.2	(n=500) 42.6	(n=500) 25.0
2022年4月からの成人年齢引き下げ認知	知っていた	(n=845) 88.3	(n=845) 87.1	(n=845) 69.3	(n=845) 43.0	(n=845) 28.4
	なんとなく知っていた	(n=115) 67.0	(n=115) 67.8	(n=115) 52.2	(n=115) 27.8	(n=115) 24.3
	あまり知らなかった	(n=14) 50.0	(n=14) 35.7	(n=14) 14.3	(n=14) 28.6	(n=14) 0.0
	知らなかった	(n=26) 23.1	(n=26) 30.8	(n=26) 26.9	(n=26) 19.2	(n=26) 11.5
知っていた 計		(n=960) 85.7	(n=960) 84.8	(n=960) 67.3	(n=960) 41.1	(n=960) 27.9
知らなかった 計		(n=40) 32.5	(n=40) 32.5	(n=40) 22.5	(n=40) 22.5	(n=40) 7.5
18歳の時点で「成人」にふさわしい大人になった(なる)か	大人になった(なる)	(n=121) 81.0	(n=121) 76.0	(n=121) 65.3	(n=121) 41.3	(n=121) 30.6
	どちらかという大人になった(なる)	(n=358) 79.9	(n=358) 78.8	(n=358) 59.2	(n=358) 36.3	(n=358) 25.4
	どちらかという子どものまま	(n=398) 87.4	(n=398) 87.2	(n=398) 69.3	(n=398) 42.2	(n=398) 27.4
	子どものまま	(n=123) 84.6	(n=123) 86.2	(n=123) 71.5	(n=123) 45.5	(n=123) 27.6
	大人になった(なる) 計	(n=479) 80.2	(n=479) 78.1	(n=479) 60.8	(n=479) 37.6	(n=479) 26.7
子どものまま 計		(n=521) 86.8	(n=521) 86.9	(n=521) 69.9	(n=521) 43.0	(n=521) 27.4
成人年齢引き下げへの賛否	賛成	(n=211) 82.5	(n=211) 80.6	(n=211) 65.9	(n=211) 37.9	(n=211) 26.1
	どちらかという賛成	(n=384) 81.3	(n=384) 80.7	(n=384) 60.7	(n=384) 36.5	(n=384) 27.1
	どちらかという反対	(n=328) 86.9	(n=328) 85.7	(n=328) 69.2	(n=328) 41.5	(n=328) 25.0
	反対	(n=77) 84.4	(n=77) 85.7	(n=77) 72.7	(n=77) 62.3	(n=77) 39.0
	賛成 計	(n=595) 81.7	(n=595) 80.7	(n=595) 62.5	(n=595) 37.0	(n=595) 26.7
反対 計		(n=405) 86.4	(n=405) 85.7	(n=405) 69.9	(n=405) 45.4	(n=405) 27.7

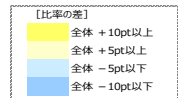
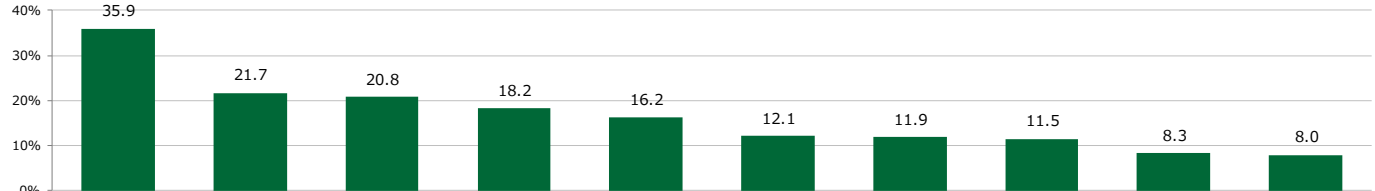
(※n=30未満は参考値として扱う)

2022年4月以降の法律・ルールについて もっと年齢を上げるべき法律・ルール

- 「もっと年齢を上げるべき」の比率が最も高いのは「18歳で、親の同意が無くても契約ができる」で35.9%。次いで、「18歳で、公認会計士、司法書士、医師免許、薬剤師免許などの国家資格を取得できる」（21.7%）、「20歳で、養子を迎えることができる」（20.8%）は「もっと年齢を上げるべき」が2割以上と多い。
- 成人年齢引き下げに「反対」と回答した層は全ての項目で「もっと年齢を上げるべき」が全体に比べて高く、特に「18歳で、親の同意が無くても契約ができる」が70.1%と高い。

Q 以下の各項目は、成人年齢引き下げにより実際に2022年4月以降に適用される法律・ルールです。それぞれについて、適切と感じるか、もっと年齢を引き下げる／引き上げるべきと感じるか回答してください。（各単一回答）

※「もっと年齢を上げるべき」のスコアを掲載



		18歳で、親の同意が無くても契約ができる (携帯電話、ローン、家の賃借、クレジットカード作成など)	18歳で、公認会計士、司法書士、医師免許、薬剤師免許などの国家資格を取得できる	20歳で、養子を迎えることができる	20歳で、競馬、競輪、オートレース、ポドレースの投票券を買う	20歳で、喫煙ができる	20歳で、飲酒ができる	18歳で、男性が結婚できる	18歳で、女性が結婚できる	18歳で、性同一性障害の人が性別の取扱いの変更の審判を受けられる（裁判所の審判で戸籍上の性別を変更できる）	20歳で、大型・中型自動車運転免許を取得できる
全体 (n=1000)		35.9	21.7	20.8	18.2	16.2	12.1	11.9	11.5	8.3	8.0
性別	男性 (n=500)	34.0	19.4	17.4	15.4	17.2	12.8	11.0	11.0	7.8	7.0
	女性 (n=500)	37.8	24.0	24.2	21.0	15.2	11.4	12.8	12.0	8.8	9.0
2022年4月からの成人年齢引き下げ認知	知っていた (n=845)	35.9	21.9	21.5	18.8	16.2	11.6	11.8	11.4	8.3	7.7
	なんとなく知っていた (n=115)	40.9	21.7	16.5	13.0	15.7	13.9	11.3	10.4	8.7	7.8
	あまり知らなかった (n=14)	14.3	7.1	21.4	14.3	14.3	21.4	0.0	7.1	0.0	21.4
	知らなかった (n=26)	26.9	23.1	15.4	23.1	19.2	15.4	23.1	23.1	11.5	11.5
	知っていた 計 (n=960)	36.5	21.9	20.9	18.1	16.1	11.9	11.8	11.3	8.3	7.7
知らなかった 計 (n=40)	22.5	17.5	17.5	20.0	17.5	17.5	17.5	15.0	17.5	7.5	15.0
18歳の時点で「成人」にふさわしい大人になった(なる)か	大人になった(なる) (n=121)	21.5	15.7	15.7	16.5	14.0	11.6	9.9	8.3	8.3	6.6
	どちらかという大人になった(なる) (n=358)	27.4	19.3	15.4	14.2	13.7	11.2	10.3	11.2	6.7	7.3
	どちらかという子どものまま (n=398)	43.0	23.6	23.4	19.8	17.3	12.1	10.8	9.8	8.3	8.3
	子どものまま (n=123)	52.0	28.5	33.3	26.0	22.0	15.4	22.0	21.1	13.0	10.6
	大人になった(なる) 計 (n=479)	25.9	18.4	15.4	14.8	13.8	11.3	10.2	10.4	7.1	7.1
子どものまま 計 (n=521)	45.1	24.8	25.7	21.3	18.4	12.9	13.4	12.5	9.4	8.8	
成人年齢引き下げへの賛否	賛成 (n=211)	15.6	11.4	15.2	14.7	16.1	11.4	6.6	6.6	6.6	5.2
	どちらかという賛成 (n=384)	29.4	14.8	16.1	12.8	13.5	9.1	8.6	9.4	5.5	6.3
	どちらかという反対 (n=328)	48.5	30.2	25.6	22.6	15.5	11.6	14.6	13.4	10.1	8.5
	反対 (n=77)	70.1	48.1	39.0	36.4	32.5	31.2	31.2	27.3	19.5	22.1
	賛成 計 (n=595)	24.5	13.6	15.8	13.4	14.5	9.9	7.9	8.4	5.9	5.9
反対 計 (n=405)	52.6	33.6	28.1	25.2	18.8	15.3	17.8	16.0	11.9	11.1	

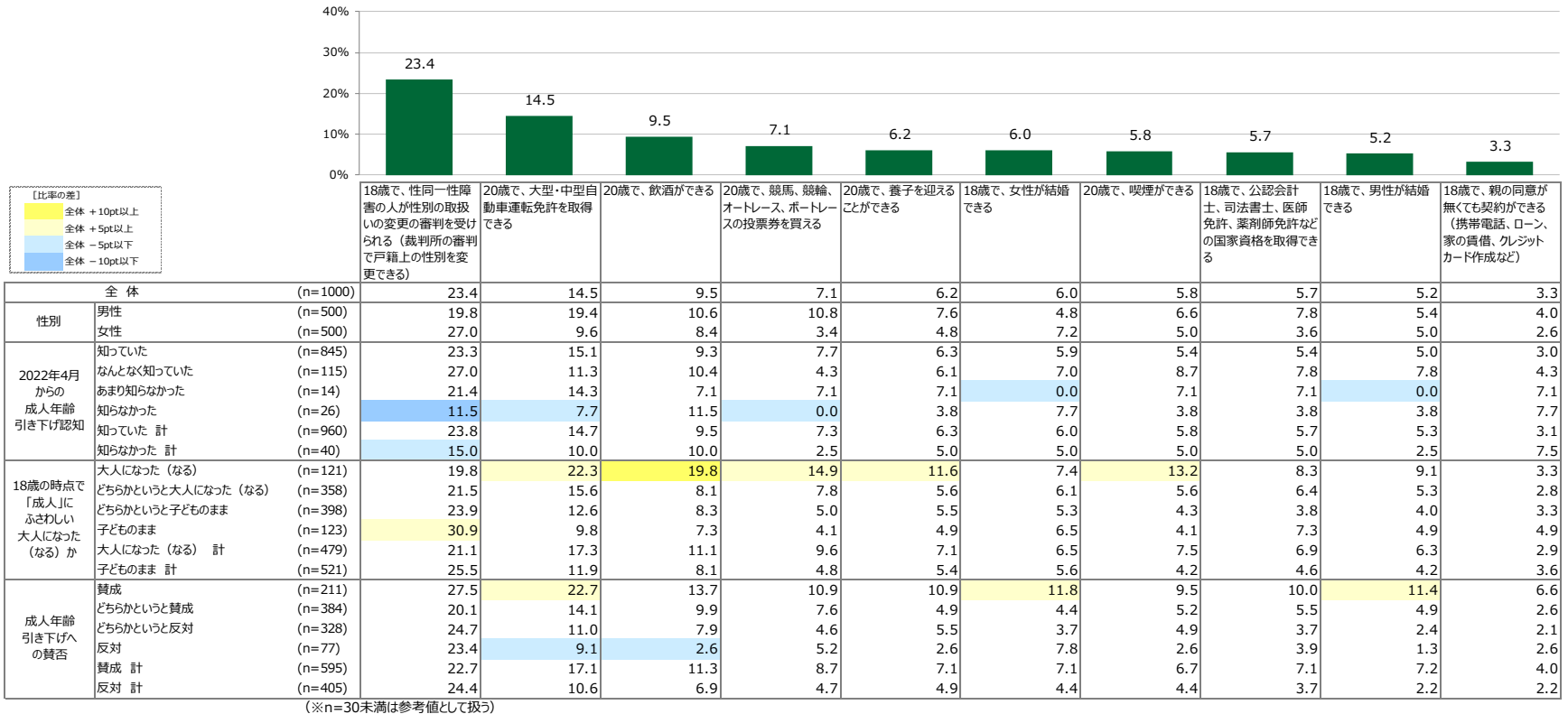
(※n=30未満は参考値として扱う)

2022年4月以降の法律・ルールについて もっと年齢を下げるべき法律・ルール

- 「18歳で、性同一性障害の人が性別の取扱いの変更の審判を受けられる」は「もっと年齢を下げるべき」が23.4%と他の項目に比べて高い。

Q 以下の各項目は、成人年齢引き下げにより実際に2022年4月以降に適用される法律・ルールです。それぞれについて、適切と感じるか、もっと年齢を引き下げる／引き上げるべきと感じるか回答してください。（各単一回答）

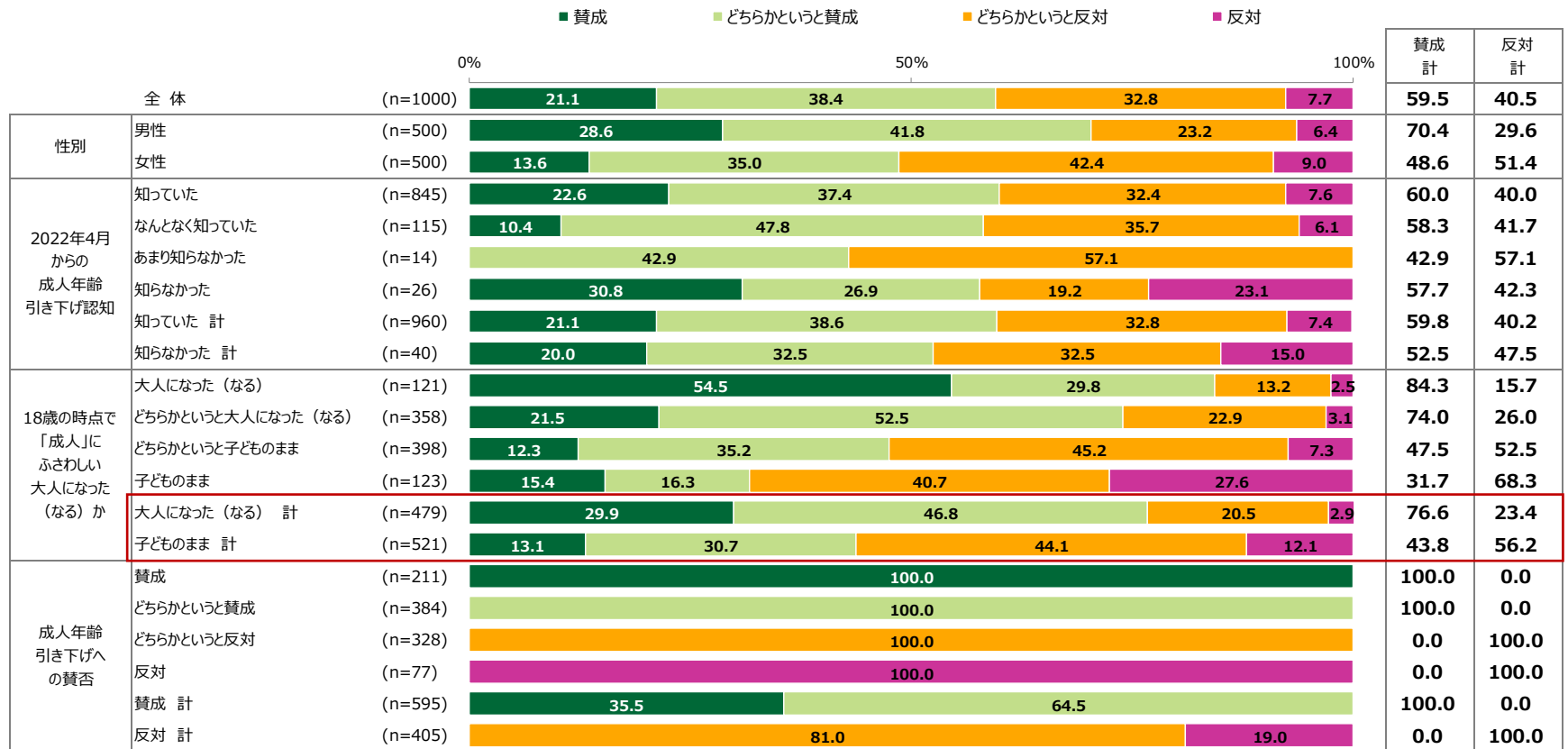
※ 「もっと年齢を下げるべき」のスコアを掲載



成人年齢引き下げへの賛否

- 成人年齢の引き下げについて「賛成 計」が59.5%と、「反対 計」（40.5%）を上回る。
- 自身が18歳の時点で「大人になった（なる） 計」の層は、「賛成 計」が76.6%と全体に比べて高い。一方「子どものまま 計」の層は「反対 計」が56.2%と反対意見が多い。

Q 2022年4月から成人年齢が20歳から18歳に引き下げられることについて、賛成ですか、反対ですか。



(※n=30未満は参考値として扱う)

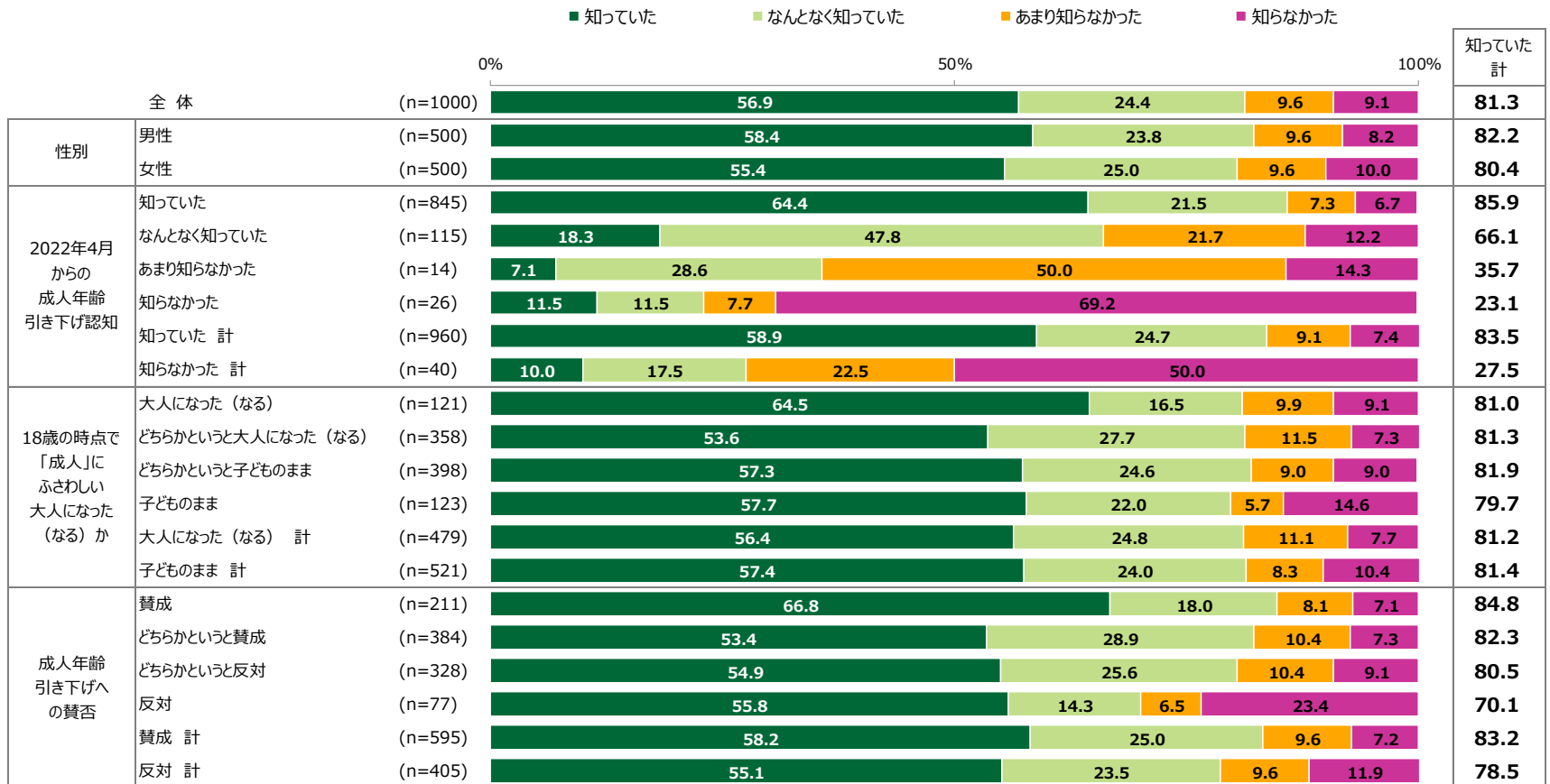
提示文章②

以下の質問では、日本における「裁判員制度」について、あなたの認識や意見をお尋ねします。

裁判員制度 認知 1/2

- 裁判員制度について56.9%の人が「知っていた」と回答。「なんとなく知っていた」も含めると認知率は81.3%。

Q 「裁判員制度」は、国民から選ばれた裁判員が刑事事件の裁判に加わり有罪・無罪の判断や刑の内容（重さ）を裁判官と一緒に決める制度です。あなたは「裁判員制度」を知っていましたか。

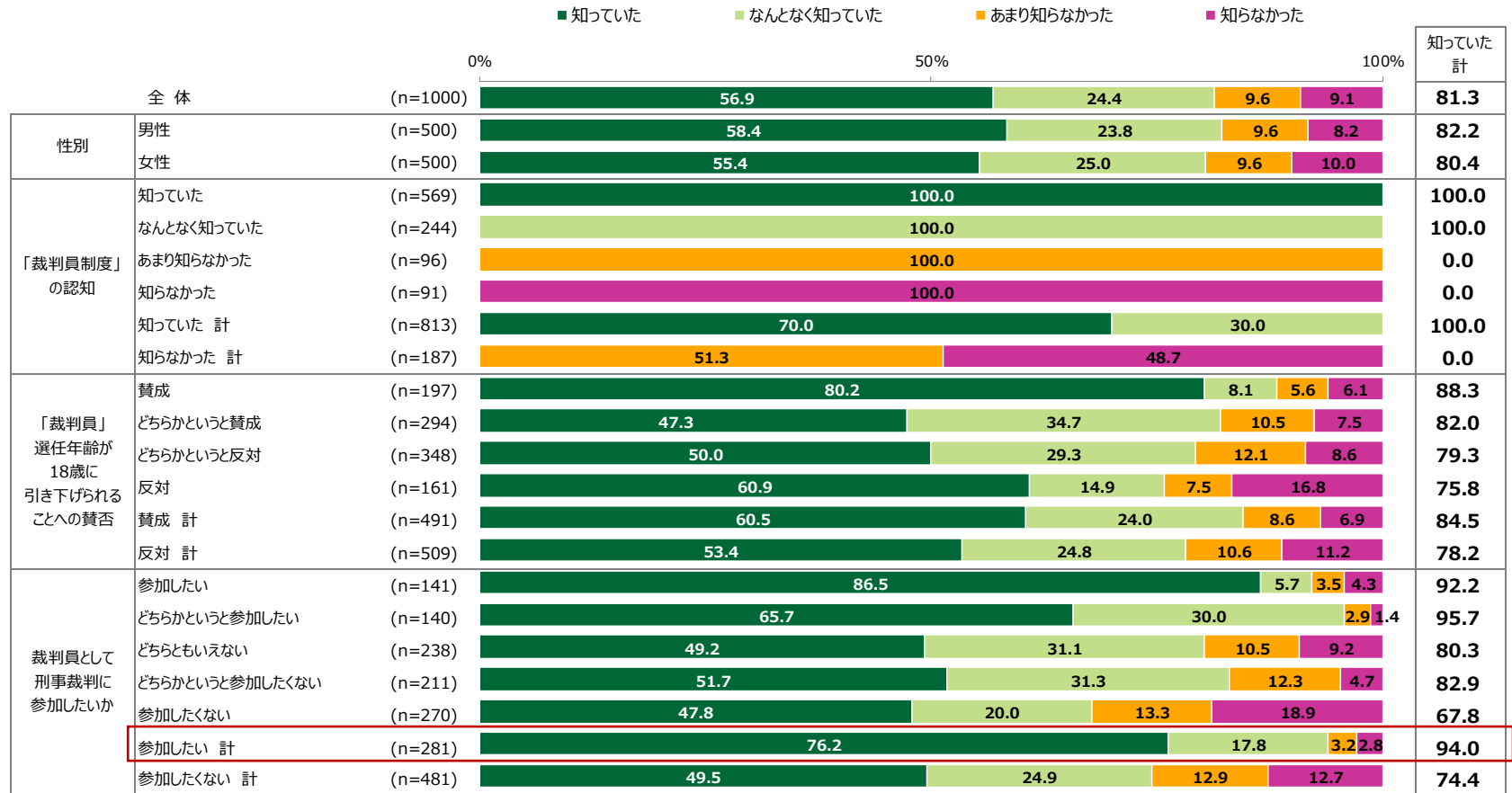


(※n=30未満は参考値として扱う)

裁判員制度 認知 2/2

- 裁判員として刑事裁判に参加意向がある層（参加したい計）は、「知っていた」が76.2%、「知っていた計」が94.0%と特に認知率が高い。

Q 「裁判員制度」は、国民から選ばれた裁判員が刑事事件の裁判に加わり有罪・無罪の判断や刑の内容（重さ）を裁判官と一緒に決める制度です。あなたは「裁判員制度」を知っていましたか。



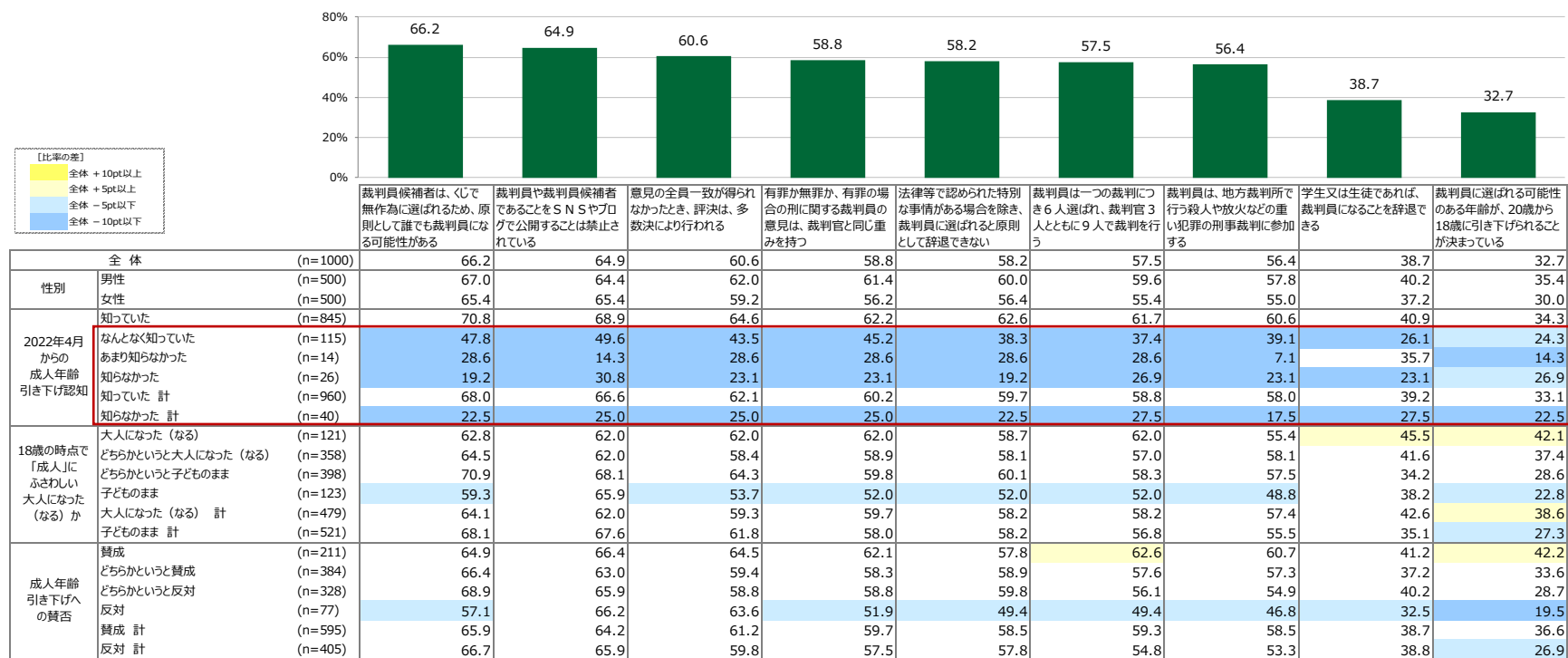
(※n=30未満は参考値として扱う)

裁判員制度について 認知 1/2

- 裁判員制度について、「裁判員候補者は、くじで無作為に選ばれるため、原則として誰でも裁判員になる可能性がある」（66.2%）、「裁判員や裁判員候補者であることをSNSやブログで公開することは禁止されている」（64.9%）、「意見の全員一致が得られなかったとき、評決は、多数決により行われる」（60.6%）は認知率が高く、それぞれ6割以上。また、「裁判員に選ばれる可能性のある年齢が、20歳から18歳に引き下げられることが決まっている」は最も認知率が低く、32.7%。
- 成人年齢の引き下げについて「なんとなく知っていた」層や非認知層は全ての項目で認知率が全体に比べ低い。

Q 以下の各項目は、裁判員制度に関する説明です。それぞれ、知っていたかどうかを選択してください。

※「知っていた計」（「知っていた」+「なんとなく知っていた」）のスコアを掲載



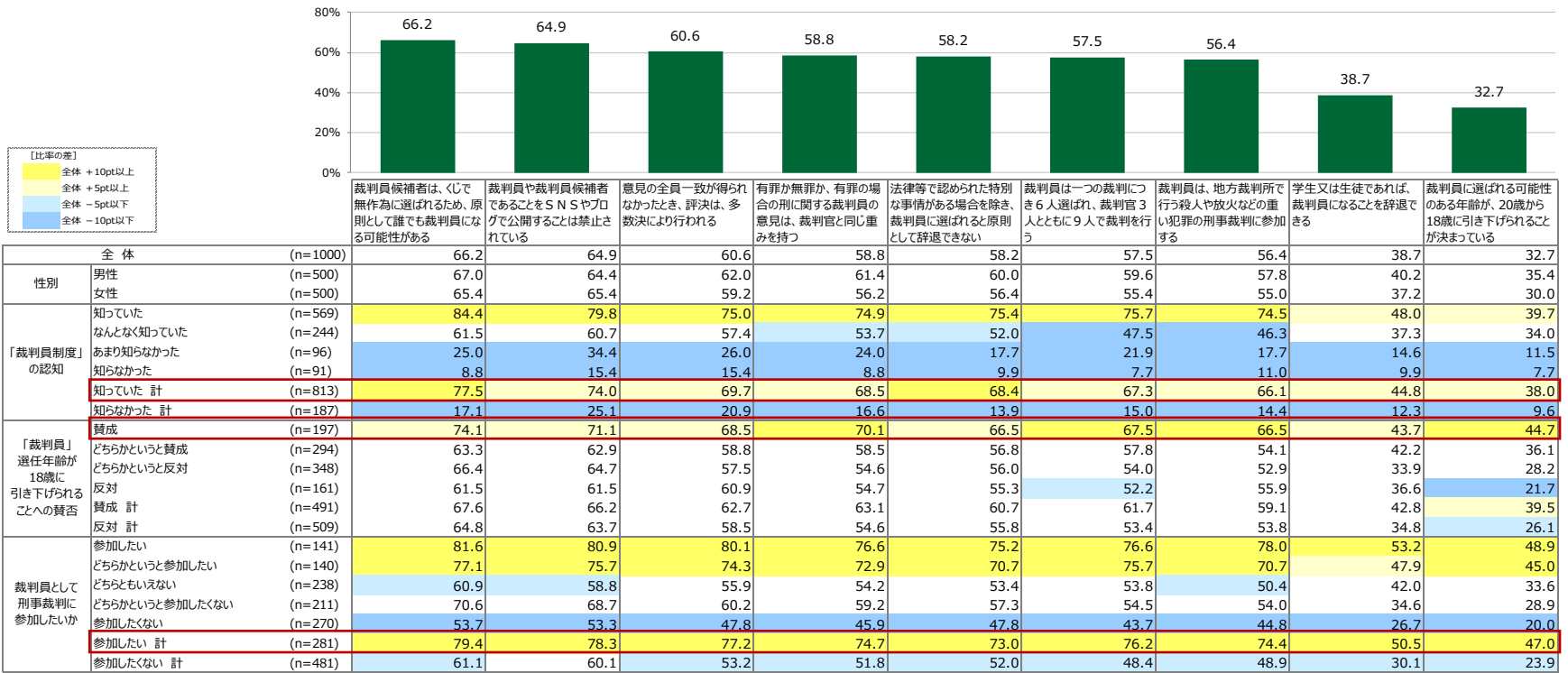
(※n=30未満は参考値として扱う)

裁判員制度について 認知 2/2

- 裁判員制度の認知層（知っていた計）は、全ての項目で全体より認知率が高い。
- 選任年齢が18歳に引き下げられることに「賛成」と回答した層や、刑事裁判に参加意向層（参加したい計）も、全ての項目で全体より認知率が高い。

Q 以下の各項目は、裁判員制度に関する説明です。それぞれ、知っていたかどうかを選択してください。

※「知っていた計」（「知っていた」＋「なんとなく知っていた」）のスコアを掲載



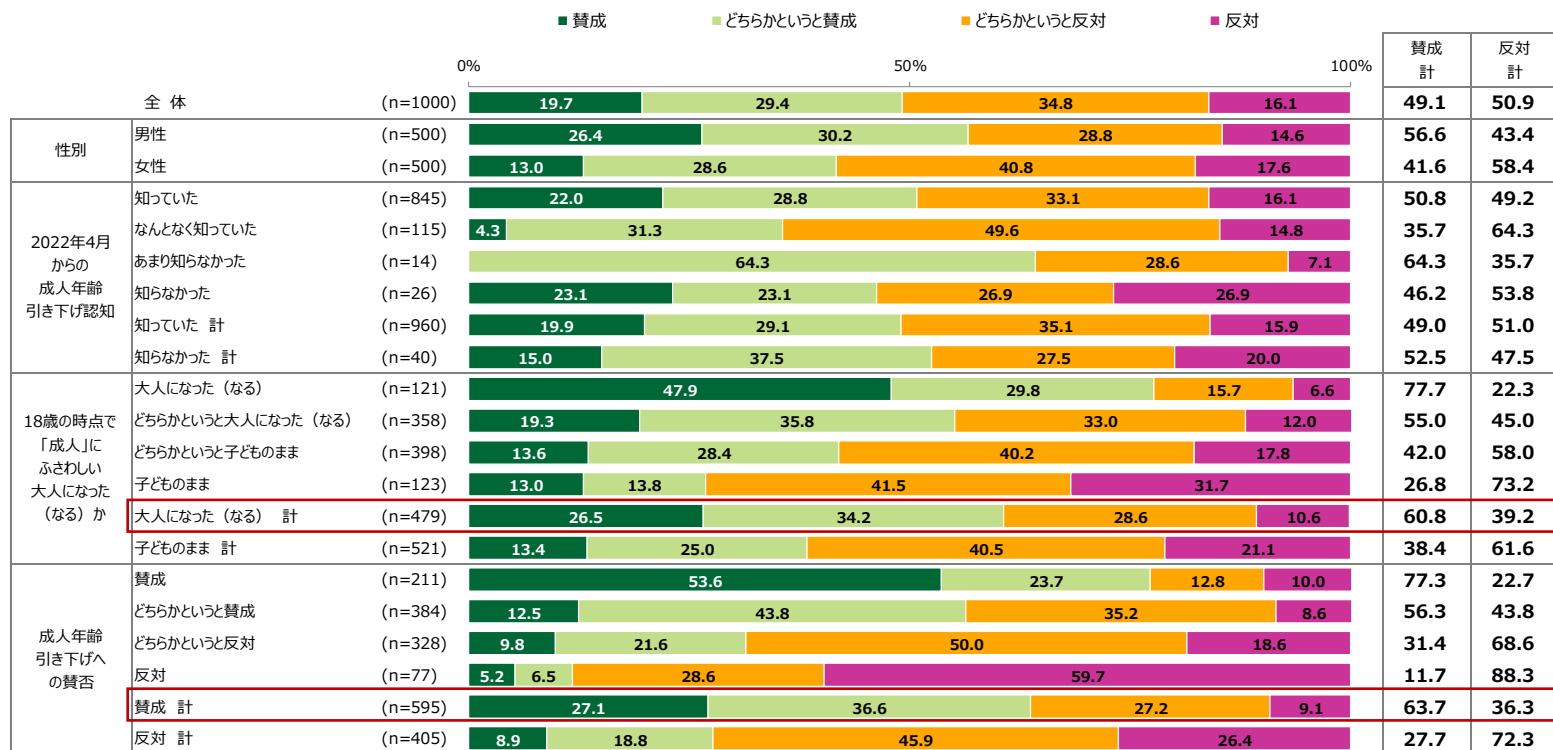
(※n=30未満は参考値として扱う)

「裁判員」選任年齢が18歳に引き下げられることへの賛否 1/2

- 選任年齢が20歳から18歳に引き下げられることについて、「賛成 計」が49.1%、「反対 計」が50.9%で意見が拮抗している。
- 18歳で「大人になった（なる） 計」層は、選任年齢引き下げについて「賛成 計」が60.8%。また、成人年齢引き下げについて「賛成 計」層は選任年齢引き下げについても「賛成 計」（63.7%）の比率が高い。

Q 2023年1月以降、18歳、19歳の人も裁判員に選ばれる可能性があります。選任年齢が20歳から18歳に引き下げられることについて、賛成ですか、反対ですか。

※注：2022年4月の改正少年法施行に伴い、裁判員になることのできる年齢が18歳に引き下げられる。
裁判員候補者名簿に記載されるのは2023年分からとなるため、実際に18歳、19歳の人を選ばれる可能性があるのは2023年1月1日以降となる。



(※n=30未満は参考値として扱う)

「裁判員」選任年齢が18歳に引き下げられることへの賛否 2/2

- 裁判員として刑事裁判に参加意向層（参加したい計）は「賛成計」が80.1%と高い。一方、非参加意向層（参加したくない計）は、「反対計」が71.5%。

Q 2023年1月以降、18歳、19歳の人でも裁判員に選ばれる可能性があります。選任年齢が20歳から18歳に引き下げられることについて、賛成ですか、反対ですか。

※注:2022年4月の改正少年法施行に伴い、裁判員になることのできる年齢が18歳に引き下げられる。
裁判員候補者名簿に記載されるのは2023年分からとなるため、実際に18歳、19歳の人を選ばれる可能性があるのは2023年1月1日以降となる。

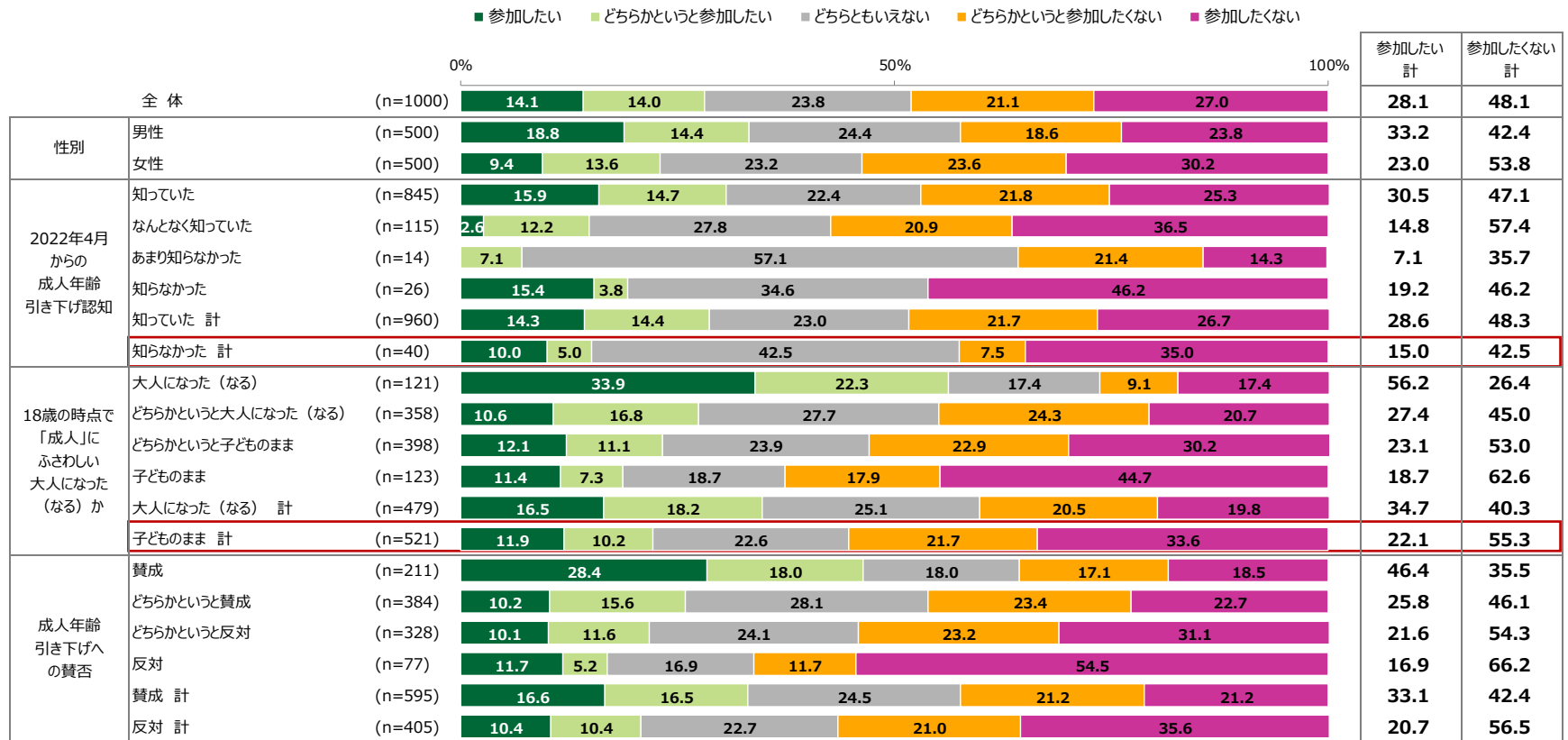


(※n=30未満は参考値として扱う)

裁判員として刑事裁判に参加したいか 1/2

- 裁判員として刑事裁判への参加意向は「参加したくない計」が48.1%で「参加したい計」（28.1%）を上回る。
- 18歳の時点で「大人になった（なる）」と回答した層は、「参加したい計」が56.2%と過半数を占める。また、成人年齢引き下げに「賛成」と回答した層も参加意向が高く、「参加したい計」が46.4%。

Q あなた自身は、裁判員として刑事裁判に参加したいと感じますか。

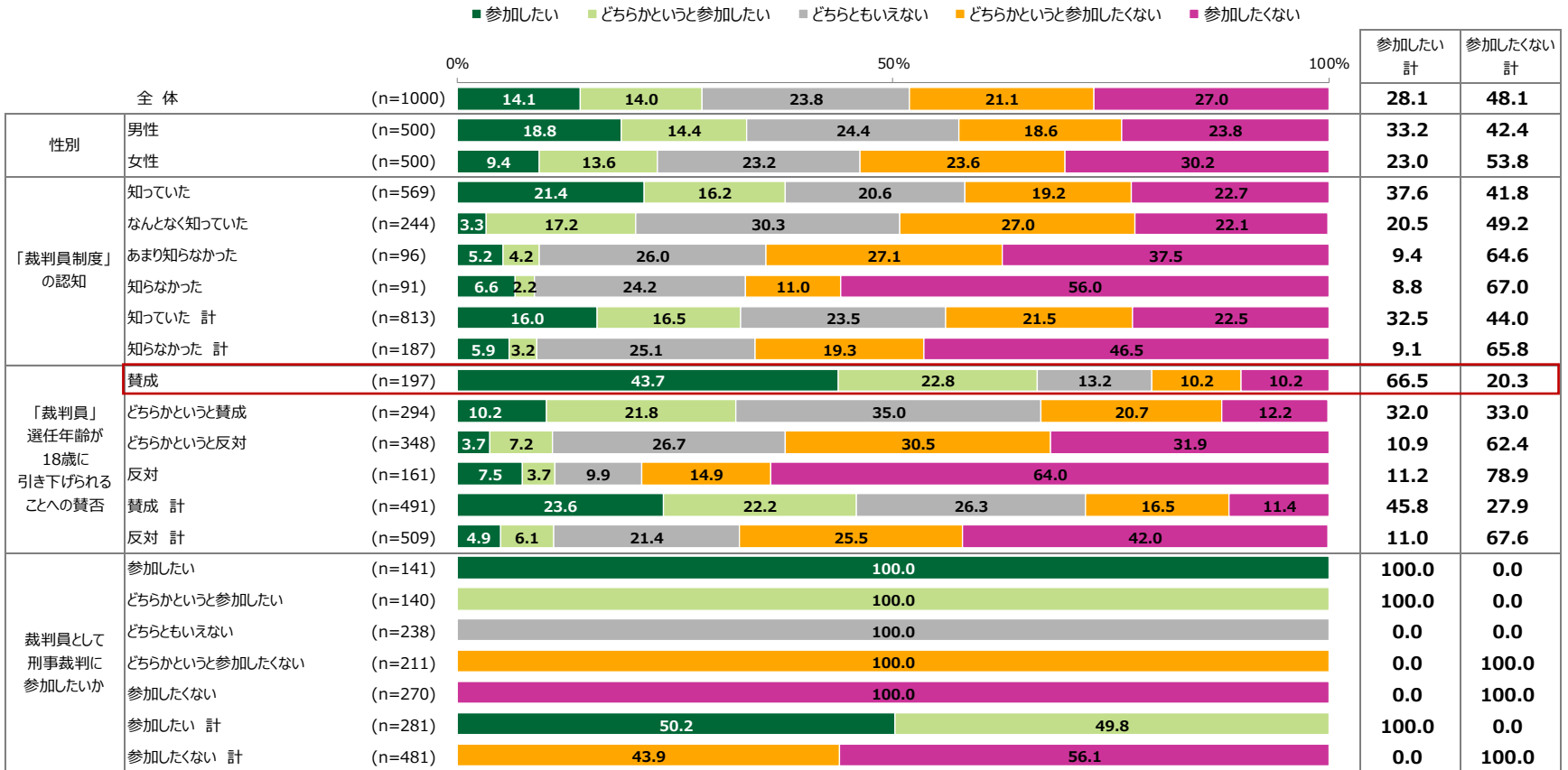


(※n=30未満は参考値として扱う)

裁判員として刑事裁判に参加したいか 2/2

- 選任年齢が18歳に引き下げられることに「賛成」と回答した層は「参加したい 計」が66.5%と過半数を占め、参加意向が高い。

Q あなた自身は、裁判員として刑事裁判に参加したいと感じますか。



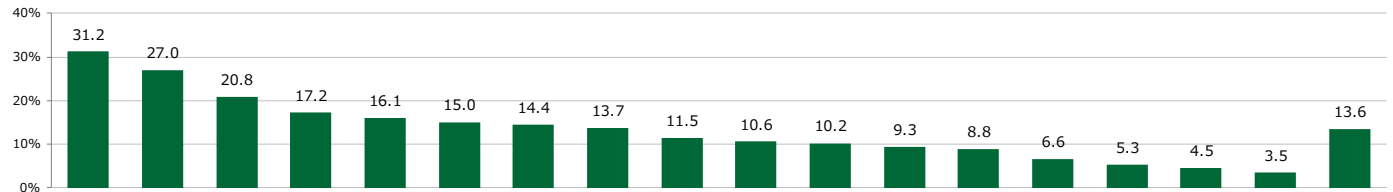
(※n=30未満は参考値として扱う)

裁判員に選ばれた場合、不安に感じること 1/2

- 最も不安に感じることは「間違っただ判断をしてしまうこと」(31.2%)。次いで、「重い刑罰を言い渡すことの責任」(27.0%)、「自分の年齢が若く、十分な人生経験がないこと」(20.8%)が上位に挙がる。

Q あなたが裁判員に選ばれたとして、不安に感じることは何ですか。当てはまるものを3つまで選択してください。(複数回答3つまで)

※注:被告人とは、ある犯罪を犯したとして裁判を受けている人のこと



[比率の差]																					
		全体	間違った判断をしてしまうこと (誤解、えん罪、冷静でない判断など)	重い刑罰を言い渡すこと	自分の年齢が若く、十分な人生経験がないこと	殺人など重大な犯罪の内容を聞くことによる精神的なショック	裁判で出てくる法律や制度を理解できるかどうか	被告人やその関係者から恨まれる可能性	裁判員制度に関する情報や知識が少ないこと	被告人やその関係者から将来攻撃される危険性	辞退をしたくても認められない可能性	事件の内容や背景を理解できるかどうか	勉強や仕事の時間が奪われること	裁判官や他の裁判員の前で自分の意見を発表すること	学校や職場での欠席・欠勤の扱い	自分の年齢が裁判官や他の裁判員と比べて若すぎる	裁判中や裁判後、悩んだりときに誰かに相談できるかどうか	裁判の中で知った秘密が守れるかどうか	自分の年齢が被告人と比べて若すぎる	この中にはない/分からない	
全体	(n=1000)	31.2	27.0	20.8	17.2	16.1	15.0	14.4	13.7	11.5	10.6	10.2	9.3	8.8	6.6	5.3	4.5	3.5	13.6		
性別	男性 (n=500)	30.2	26.2	16.4	15.6	16.4	15.2	13.0	15.8	11.2	10.2	13.4	9.6	10.6	6.2	3.8	5.4	5.0	12.8		
	女性 (n=500)	32.2	27.8	25.2	18.8	15.8	14.8	15.8	11.6	11.8	11.0	7.0	9.0	7.0	7.0	6.8	3.6	2.0	14.4		
2022年4月からの成人年齢引き下げ認知	知っていた (n=845)	33.0	28.6	21.4	18.6	16.6	16.1	15.1	14.8	11.0	10.7	9.9	9.8	9.0	7.0	5.8	4.0	3.9	10.7		
	なんとなく知っていた (n=115)	20.9	21.7	21.7	11.3	14.8	9.6	10.4	8.7	14.8	13.0	12.2	7.0	10.4	5.2	3.5	8.7	1.7	19.1		
	あまり知らなかった (n=14)	35.7	21.4	0.0	7.1	28.6	7.1	14.3	0.0	28.6	0.0	21.4	7.1	0.0	7.1	0.0	7.1	0.0	0.0	35.7	
	知らなかった (n=26)	15.4	0.0	7.7	3.8	0.0	7.7	7.7	7.7	3.8	3.8	3.8	3.8	3.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	73.1	
	知っていた 計 (n=960)	31.6	27.8	21.5	17.7	16.4	15.3	14.6	14.1	11.5	10.9	10.2	9.5	9.2	6.8	5.5	4.6	3.6	11.7		
知らなかった 計 (n=40)	22.5	7.5	5.0	5.0	10.0	7.5	10.0	5.0	12.5	2.5	10.0	5.0	0.0	2.5	0.0	2.5	0.0	0.0	60.0		
18歳の時点で「成人」にふさわしい大人になった(なる)か	大人になった(なる) (n=121)	21.5	19.0	14.0	11.6	10.7	18.2	12.4	15.7	9.1	11.6	5.8	5.8	14.0	6.6	7.4	9.9	7.4	17.4		
	どちらかという大人になった(なる) (n=358)	28.8	27.4	20.1	17.9	14.8	14.2	12.3	12.3	10.9	10.6	10.6	10.6	8.9	7.0	5.6	4.5	4.5	14.2		
	どちらかという子どものまま (n=398)	35.9	31.9	21.9	17.3	17.3	13.6	16.3	12.6	12.3	11.3	11.1	9.8	7.5	7.0	4.3	2.8	1.5	11.8		
	子どものまま (n=123)	32.5	17.9	26.0	20.3	21.1	18.7	16.3	19.5	13.0	7.3	10.6	7.3	7.3	4.1	5.7	4.9	3.3	13.8		
	大人になった(なる) 計 (n=479)	26.9	25.3	18.6	16.3	13.8	15.2	12.3	13.2	10.4	10.9	9.4	9.4	10.2	6.9	6.1	5.8	5.2	15.0		
子どものまま 計 (n=521)	35.1	28.6	22.8	18.0	18.2	14.8	16.3	14.2	12.5	10.4	10.9	9.2	7.5	6.3	4.6	3.3	1.9	12.3			
成人年齢引き下げへの賛否	賛成 (n=211)	27.5	22.3	17.5	14.2	15.6	18.0	13.3	14.2	10.4	9.5	8.5	10.0	11.8	7.6	5.7	6.6	5.7	15.6		
	どちらかという賛成 (n=384)	31.5	31.3	19.8	16.9	15.9	17.4	14.1	13.3	10.2	10.4	11.5	10.2	8.1	6.3	4.2	4.2	3.6	14.6		
	どちらかという反対 (n=328)	33.2	26.5	22.9	18.3	18.3	18.0	16.2	14.6	12.2	11.6	9.8	7.9	6.7	6.7	5.8	2.7	2.4	10.4		
	反対 (n=77)	31.2	20.8	26.0	22.1	9.1	10.4	11.7	10.4	18.2	10.4	10.4	9.1	13.0	5.2	7.8	7.8	1.3	16.9		
	賛成 計 (n=595)	30.1	28.1	19.0	16.0	15.8	13.9	13.8	13.6	10.3	10.1	10.4	10.1	9.4	6.7	4.7	5.0	4.4	15.0		
反対 計 (n=405)	32.8	25.4	23.5	19.0	16.5	16.5	15.3	13.8	13.3	11.4	9.9	8.1	7.9	6.4	6.2	3.7	2.2	11.6			

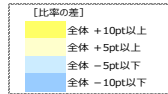
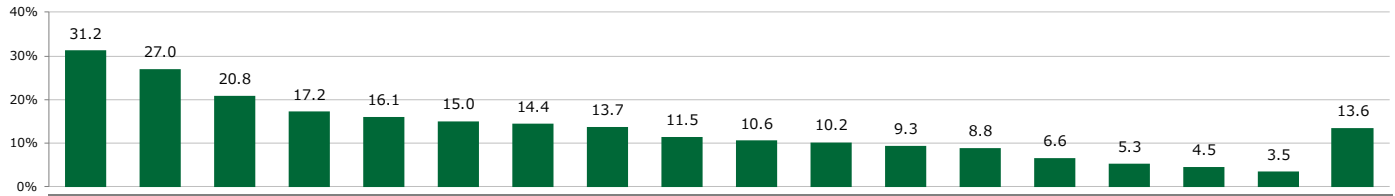
(※n=30未満は参考値として扱う)

裁判員に選ばれた場合、不安に感じること 2/2

- 選任年齢が引き下げられることへの賛否別では上位項目の傾向の違いは見られない。
- 刑事裁判への参加意向別では、「参加したい」回答者が「被告人やその関係者から将来攻撃される危険性」が26.2%で全体に比べて高い。全体で上位に挙がっていた「自分の年齢が若く、十分な人生経験がないこと」については、「参加したい」回答者は全体に比べて低いスコアとなった。

Q あなたが裁判員に選ばれたとして、不安に感じることは何ですか。当てはまるものを3つまで選択してください。(複数回答3つまで)

※注:被告人とは、ある犯罪を犯したとして裁判を受けている人のこと



項目	人数	間違った判断をしてしまうこと(誤解、えん罪、冷静でない判断など)	重い刑罰を言い渡すことへの責任	自分の年齢が若く、十分な人生経験がないこと	殺人など重大な犯罪の内容を聞くことによる精神的なショック	裁判で出てくる法律や制度を理解できるかどうか	被告人やその関係者から恨まれる可能性	裁判員制度に関する情報や知識が少ないこと	被告人やその関係者から将来攻撃される危険性	辞退をしたくても認められない可能性	事件の内容や背景を理解できるかどうか	勉強や仕事の時間が奪われること	裁判官や他の裁判員の前で自分の意見を発表すること	学校や職場での欠席・欠勤の扱い	自分の年齢が裁判官や他の裁判員と比べて若すぎるかどうか	裁判中や裁判後、悩んだときに誰かに相談できるかどうか	裁判の中で知られた秘密が被告人と比べて若すぎるかどうか	自分の年齢が被告人と比べて若すぎるかどうか	この中にはない/分からない	
全体	(n=1000)	31.2	27.0	20.8	17.2	16.1	15.0	14.4	13.7	11.5	10.6	10.2	9.3	8.8	6.6	5.3	4.5	3.5	13.6	
性別																				
男性	(n=500)	30.2	26.2	16.4	15.6	16.4	15.2	13.0	15.8	11.2	10.2	13.4	9.6	10.6	6.2	3.8	5.4	5.0	12.8	
女性	(n=500)	32.2	27.8	25.2	18.8	15.8	14.8	15.8	11.6	11.8	11.0	7.0	9.0	7.0	7.0	6.8	3.6	2.0	14.4	
「裁判員制度」の認知																				
知っていた	(n=569)	36.2	31.6	24.8	19.9	17.4	17.6	13.4	17.0	11.8	10.9	12.3	10.4	10.5	7.0	6.3	4.0	4.2	5.6	
なんとなく知っていた	(n=244)	26.2	24.2	17.6	14.3	16.0	13.5	14.3	10.7	12.7	9.8	9.4	8.6	6.6	5.7	5.3	5.7	3.3	17.6	
あまり知らなかった	(n=96)	27.1	22.9	9.4	13.5	15.6	10.4	18.8	8.3	10.4	12.5	8.3	8.3	7.3	8.3	3.1	5.2	2.1	21.9	
知らなかった	(n=91)	17.6	9.9	16.5	12.1	8.8	7.7	16.5	6.6	7.7	8.8	1.1	5.5	5.5	4.4	1.1	3.3	1.1	44.0	
知っていた 計	(n=813)	33.2	29.4	22.6	18.2	17.0	16.4	13.7	15.1	12.1	10.6	11.4	9.8	9.3	6.6	6.0	4.6	3.9	9.2	
知らなかった 計	(n=187)	22.5	16.6	12.8	12.8	12.3	9.1	17.6	7.5	9.1	10.7	4.8	7.0	6.4	6.4	2.1	4.3	1.6	32.6	
「裁判員」選任年齢が18歳に引き下げられることへの賛否																				
賛成	(n=197)	29.4	24.4	17.3	15.2	17.3	16.2	10.7	15.2	9.1	10.2	12.2	11.2	15.7	5.1	7.1	6.6	5.6	13.2	
どちらかという賛成	(n=294)	27.9	26.5	16.3	18.0	12.9	14.3	12.2	14.3	8.5	12.6	8.2	11.2	4.4	5.1	4.1	4.8	3.1	17.3	
どちらかという反対	(n=348)	34.2	29.9	26.1	15.8	19.3	14.1	18.4	12.4	12.6	11.2	9.8	8.0	5.7	8.6	4.9	3.4	3.2	10.9	
反対	(n=161)	32.9	24.8	21.7	21.1	13.7	16.8	14.3	13.7	17.4	6.2	12.4	6.2	14.9	6.8	6.2	3.7	2.5	13.0	
賛成 計	(n=491)	28.5	25.7	16.7	16.9	14.7	15.1	11.6	14.7	8.8	11.6	9.8	11.2	9.0	5.1	5.3	5.5	4.1	15.7	
反対 計	(n=509)	33.8	28.3	24.8	17.5	17.5	14.9	17.1	12.8	14.1	9.6	10.6	7.5	8.6	8.1	5.3	3.5	2.9	11.6	
裁判員として刑事裁判に参加したか																				
参加したい	(n=141)	30.5	26.2	15.6	17.0	15.6	22.7	12.8	26.2	5.7	16.3	9.2	7.1	17.0	4.3	3.5	9.2	6.4	6.4	
どちらかという参加したい	(n=140)	30.0	32.1	16.4	20.0	16.4	24.3	10.7	18.6	6.4	9.3	10.0	12.1	7.9	10.0	8.6	5.7	8.6	5.7	
どちらともいえない	(n=238)	31.5	22.3	20.6	13.0	16.0	9.2	13.0	6.7	9.2	10.5	9.7	12.6	4.6	7.1	6.3	2.9	1.7	24.4	
どちらかという参加したくない	(n=211)	34.1	32.2	24.6	21.3	18.5	12.3	19.9	12.8	13.3	9.0	9.0	7.1	8.5	5.7	4.3	4.7	1.9	7.6	
参加したくない	(n=270)	29.6	24.8	23.0	16.3	14.4	13.3	14.1	11.5	17.8	9.6	12.2	7.8	8.9	6.3	4.4	2.6	2.2	16.7	
参加したい 計	(n=281)	30.2	29.2	16.0	18.5	16.0	23.5	11.7	22.4	6.0	12.8	9.6	9.6	12.5	7.1	6.0	7.5	7.5	6.0	
参加したくない 計	(n=481)	31.6	28.1	23.7	18.5	16.2	12.9	16.6	12.1	15.8	9.4	10.8	7.5	8.7	6.0	4.4	3.5	2.1	12.7	

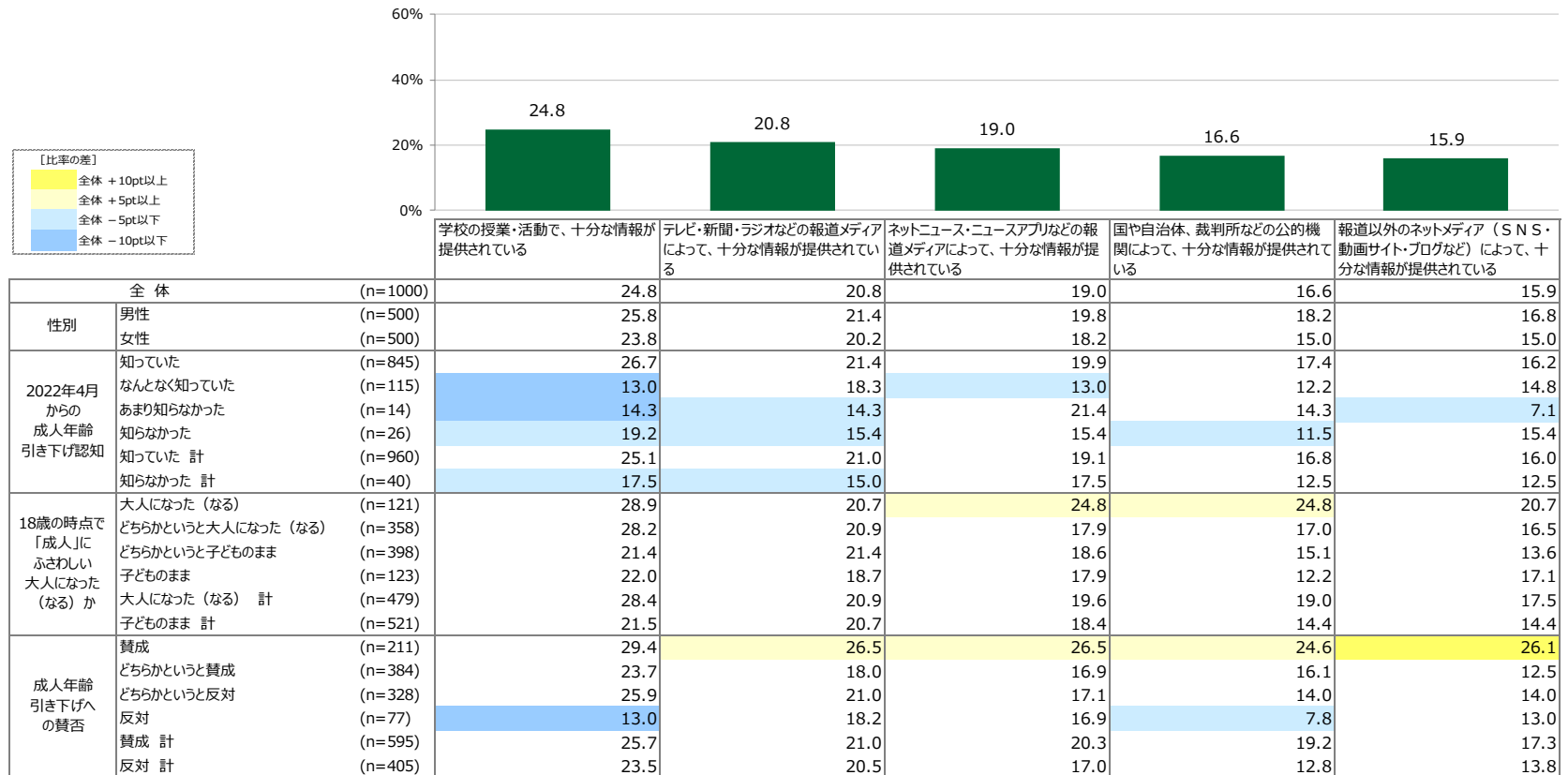
(※n=30未満は参考値として扱う)

裁判員の選任年齢の引き下げに関して 十分な情報が提供されているか 1/2

- 裁判員の選任年齢の引き下げに関する情報について、十分な情報は提供されている（＝「そう思う 計」）と回答している人は少なく、どの周知方法についても1割台～2割台。最も高いものは「学校の授業・活動で十分な情報が提供されている」で、「そう思う 計」が 24.8%。

Q 裁判員の選任年齢の20歳から18歳への引き下げに関する情報提供や周知方法について伺います。
以下の各項目について、どの程度同意しますか。（各単一回答）

※「そう思う 計」（「そう思う」＋「ややそう思う」）のスコアを掲載



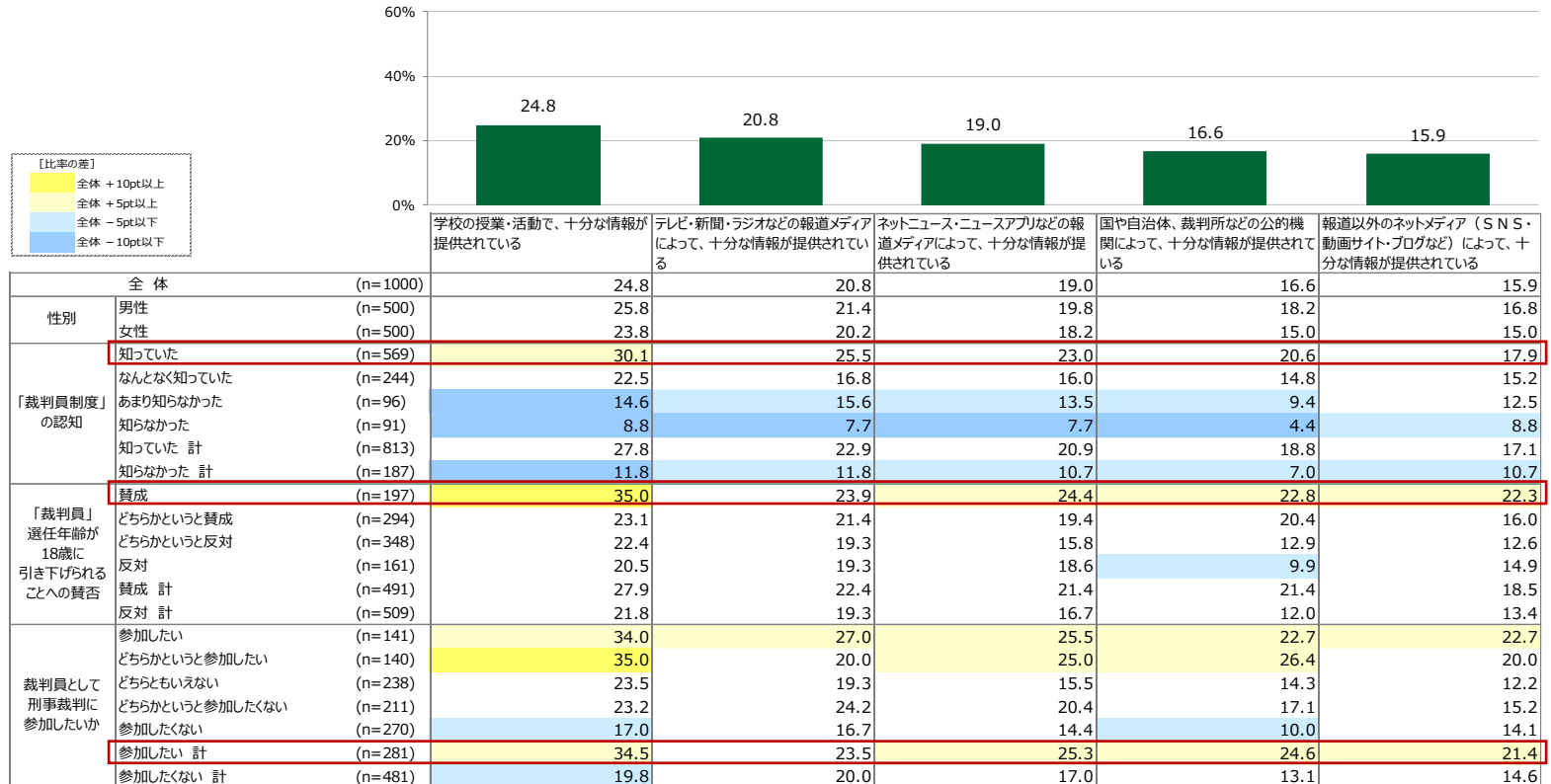
(※n=30未満は参考値として扱う)

裁判員の選任年齢の引き下げに関して 十分な情報が提供されているか 2/2

- 裁判員制度を「知っていた」層や、選任年齢が引き下げられることに「賛成」の層、刑事裁判に参加意向がある層（参加したい計）は、「学校の授業・活動で、十分な情報が提供されている」が3割以上と全体に比べて高い。
- また、これらの層は他の周知方法についても「十分な情報が提供されている」という評価が全体に比べて高い。

Q 裁判員の選任年齢の20歳から18歳への引き下げに関する情報提供や周知方法について伺います。
以下の各項目について、どの程度同意しますか。（各単一回答）

※「そう思う計」（「そう思う」＋「ややそう思う」）のスコアを掲載



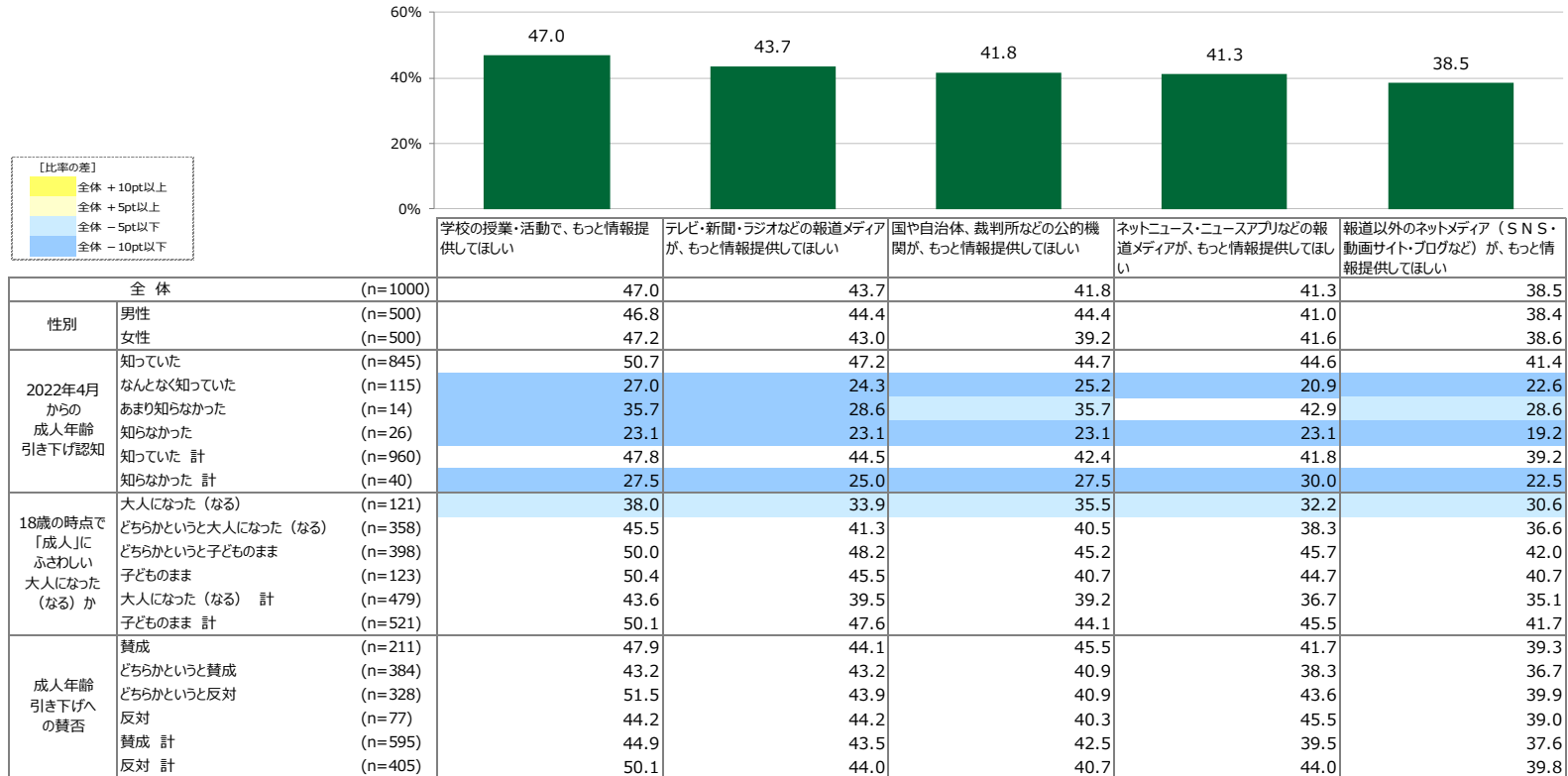
(※n=30未満は参考値として扱う)

裁判員の選任年齢の引き下げに関して より情報を提供してほしいか 1/2

- 裁判員の選任年齢の引き下げに関する情報について、もっと情報提供してほしい（＝「そう思う 計」）と回答している割合は前頁の「十分な情報が提供されている」に比べると高い。最も高いものは「学校の授業・活動で、もっと情報提供してほしい」で、「そう思う 計」が47.0%。次いで、「テレビ・新聞・ラジオなどの報道メディアが、もっと情報提供してほしい」（43.7%）、「国や自治体、裁判所などの公的機関が、もっと情報提供してほしい」（41.8%）と続く。

Q 裁判員の選任年齢の20歳から18歳への引き下げに関する情報提供や周知方法について伺います。以下の各項目について、どの程度同意しますか。（各単一回答）

※「そう思う 計」（「そう思う」＋「ややそう思う」）のスコアを掲載



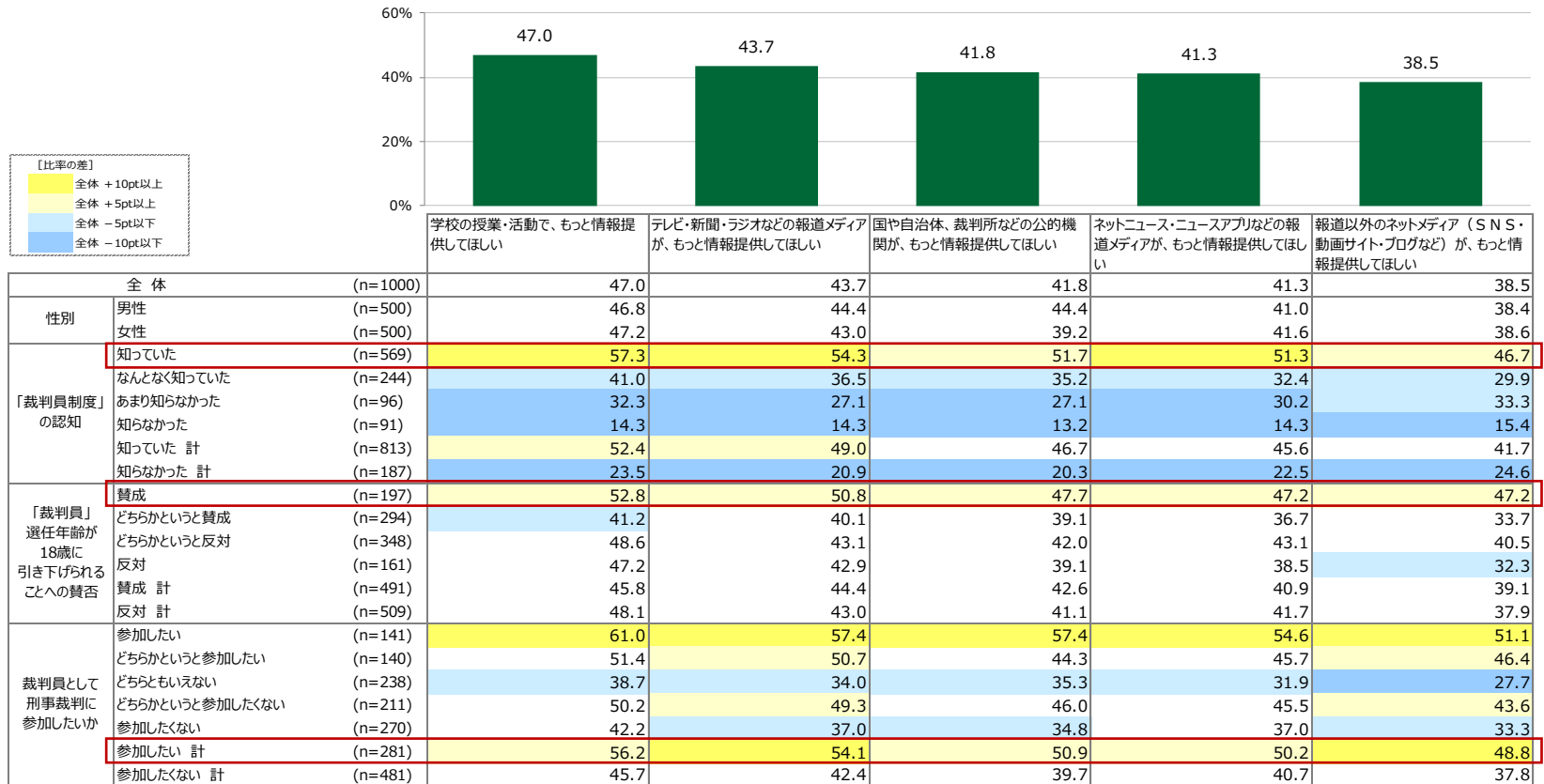
(※n=30未満は参考値として扱う)

裁判員の選任年齢の引き下げに関して より情報を提供してほしいか 2/2

- 裁判員制度について「知っていた」層や、選任年齢引き下げについて「賛成」層、刑事裁判への参加意向層（参加したい計）は、全ての周知方法について「もっと情報を提供してほしい」という意見が全体に比べて多い。

Q 裁判員の選任年齢の20歳から18歳への引き下げに関する情報提供や周知方法について伺います。
以下の各項目について、どの程度同意しますか。（各単一回答）

※「そう思う計」（「そう思う」＋「ややそう思う」）のスコアを掲載



(※n=30未満は参考値として扱う)

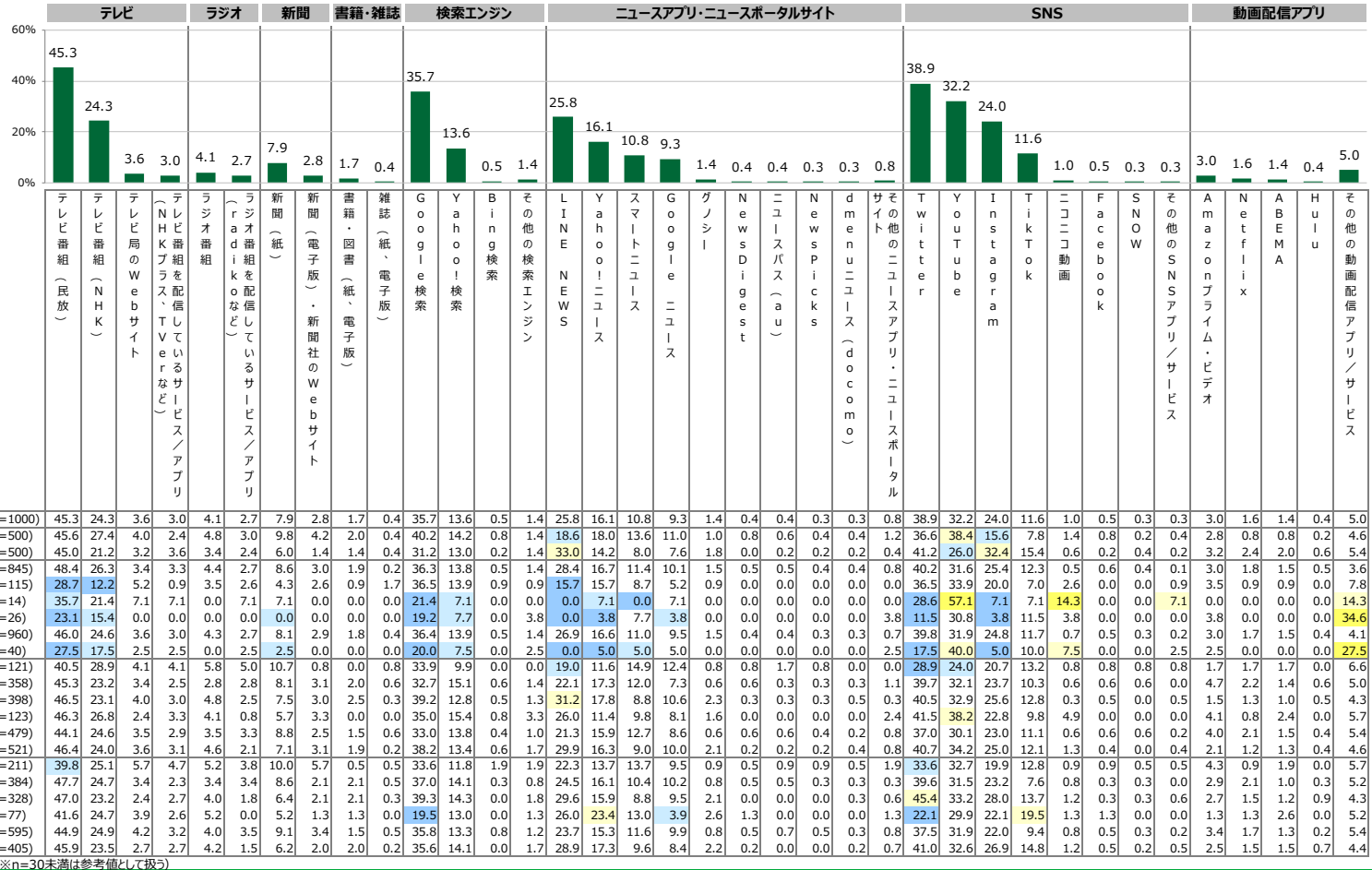
提示文章③

以下の質問では、あなたの価値観や日常生活のことについて伺います。

直近1週間以内の情報源

- 1週間以内の情報源は、「テレビ番組（民法）」（45.3%）、「Twitter」（38.9%）、「Google検索」（35.7%）、「YouTube」（32.2%）、「LINE NEWS」（25.8%）と続く。

Q 最近1週間を振り返って、あなたが取得した情報の量（ニュース、話題、知識など）が最も多かったと感じるメディアを、多い順に5つまで選択してください。（複数回答5つまで）

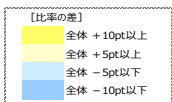
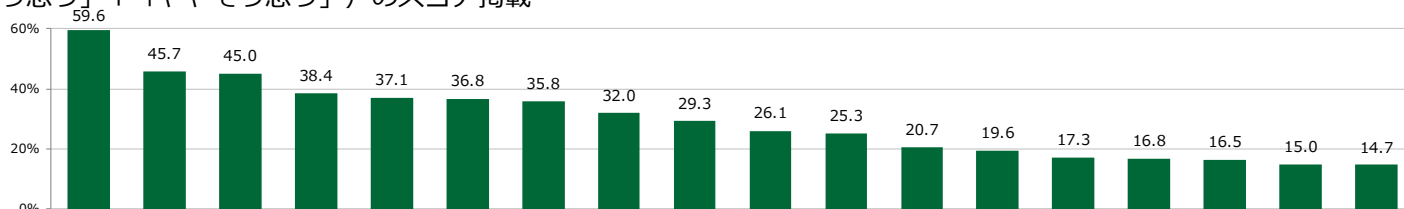


ジェンダー意識・結婚子育て意識

- 「結婚や出産に拘らない多様な人生があってもいいと思う」(59.6%)が最多。次いで、「デートのとき、食事代などをパートナーと割り勘・折半するのは普通だと思う」(45.7%)、「いつかは子どもを持ちたいと思う」(45.0%)、「経済的に、子どもを育てられるかどうか不安がある」(38.4%)と続く。
- 母親や父親が大学院卒の層は「経済的に、子どもを育てられるかどうか不安」「経済的に、結婚できるかどうか不安」などの経済的な不安が全体に比べて低い。

Q 以下の各項目について、あなた自身がどう感じるかを回答してください。正しいことか、正しくないことかは気にせずに、率直に回答してください。(各単一回答)

※「そう思う計」(「そう思う」+「ややそう思う」)のスコア掲載



全体 (n=1000)		59.6	45.7	45.0	38.4	37.1	36.8	35.8	32.0	29.3	26.1	25.3	20.7	19.6	17.3	16.8	16.5	15.0	14.7
性別	男性 (n=500)	56.8	36.8	45.0	38.6	38.4	34.6	36.0	35.2	32.2	25.0	25.4	20.0	17.0	21.4	22.2	18.4	14.0	14.6
	女性 (n=500)	62.4	54.6	45.0	38.2	35.8	39.0	35.6	28.8	26.4	27.2	25.2	21.4	22.2	13.2	11.4	14.6	16.0	14.8
親学歴・職業	母親大卒 (n=230)	64.8	45.7	48.3	37.4	37.4	37.0	37.4	31.7	31.3	26.1	26.5	20.4	16.5	20.0	17.8	19.6	17.0	17.8
	父親大卒 (n=362)	67.1	52.2	52.5	38.7	43.4	45.0	37.3	32.3	29.3	29.6	30.9	22.7	18.5	19.6	15.5	19.3	16.3	18.8
	母親大学院卒 (n=14)	85.7	57.1	57.1	14.3	42.9	42.9	50.0	14.3	42.9	35.7	21.4	28.6	7.1	21.4	14.3	35.7	21.4	28.6
	父親大学院卒 (n=39)	74.4	56.4	51.3	17.9	51.3	48.7	51.3	17.9	33.3	38.5	38.5	30.8	15.4	23.1	15.4	20.5	12.8	17.9
	母親短大・専門学校卒 (n=246)	67.1	58.9	49.2	41.9	40.2	43.9	35.4	34.6	33.3	29.3	31.3	22.4	18.7	17.1	13.4	15.4	13.0	14.6
	父親短大・専門学校卒 (n=76)	63.2	53.9	52.6	46.1	28.9	39.5	35.5	35.5	36.8	25.0	34.2	22.4	18.4	17.1	10.5	18.4	11.8	17.1
	母親高専卒 (n=50)	62.0	48.0	62.0	58.0	46.0	52.0	52.0	42.0	36.0	30.0	26.0	22.0	28.0	24.0	26.0	16.0	14.0	18.0
	父親高専卒 (n=57)	52.6	43.9	50.9	33.3	40.4	33.3	43.9	24.6	38.6	26.3	24.6	21.1	17.5	19.3	28.1	15.8	14.0	12.3
	家族失業 (n=68)	72.1	52.9	50.0	42.6	36.8	38.2	42.6	35.3	29.4	25.0	26.5	17.6	22.1	19.1	13.2	20.6	11.8	17.6
	家族減給 (n=106)	75.5	60.4	50.9	54.7	45.3	50.9	44.3	42.5	32.1	34.0	28.3	26.4	14.2	14.2	23.6	17.9	13.2	11.3
	家族倒産 (n=31)	80.6	41.9	45.2	35.5	35.5	41.9	58.1	38.7	35.5	29.0	22.6	16.1	9.7	16.1	16.1	16.1	9.7	12.9
	家族失業・減給等経験計 (n=156)	74.4	56.4	48.7	49.4	42.3	44.9	43.6	39.1	28.8	34.0	29.5	24.4	16.0	17.3	20.5	18.6	14.1	13.5
	専業主婦 (n=349)	74.5	53.9	50.4	46.7	41.8	45.6	44.7	37.5	36.7	30.9	30.4	19.5	19.5	20.9	18.9	17.5	16.9	17.2
	専業主夫 (n=3)	33.3	66.7	66.7	66.7	66.7	33.3	66.7	66.7	33.3	33.3	33.3	33.3	33.3	66.7	66.7	33.3	33.3	33.3
	専業主婦・主夫家庭計 (n=351)	74.4	53.8	50.7	47.0	42.2	45.6	44.7	37.9	36.8	31.1	30.5	19.7	19.7	21.4	19.4	17.7	17.1	17.4
分からない/当てはまるものはない (n=288)	42.0	32.3	32.3	26.7	29.9	22.9	27.8	24.3	20.8	19.4	17.4	17.4	18.1	11.8	13.9	14.6	12.8	11.8	

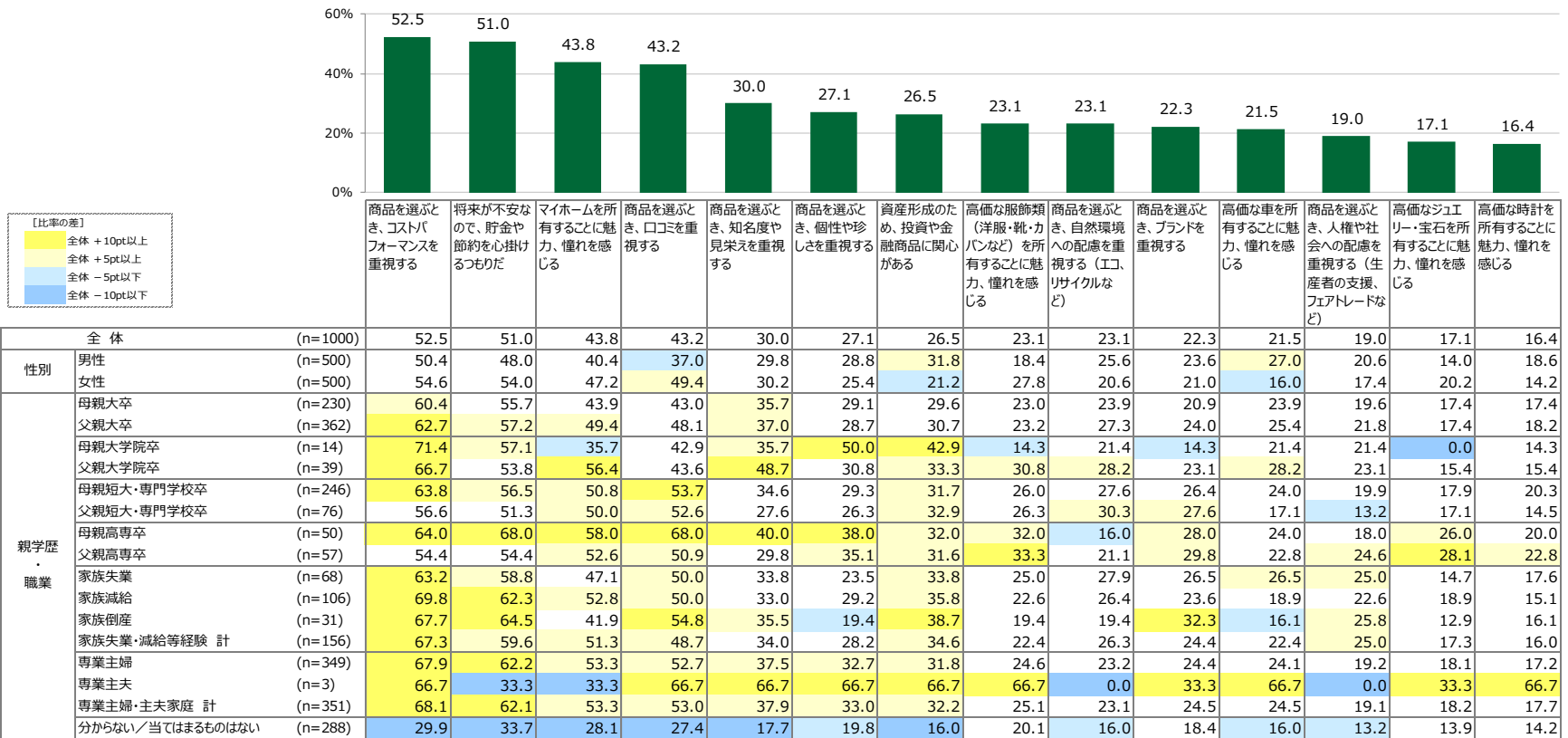
(※n=30未満は参考値として扱う)

消費行動

- 消費意識については「商品を選ぶとき、コストパフォーマンスを重視する」(52.5%)、「将来が不安なので、貯金や節約を心掛けるつもりだ」(51.0%)。次いで、「マイホームを所有することに魅力、憧れを感じる」(43.8%)、「商品を選ぶとき、口コミを重視する」(43.2%)と続く。

Q 以下の各項目について、あなた自身がどう感じるかを回答してください。正しいことか、正しくないことかは気にせずに、率直に回答してください。(各単一回答)

※「そう思う計」(「そう思う」+「ややそう思う」)のスコア掲載



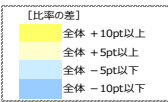
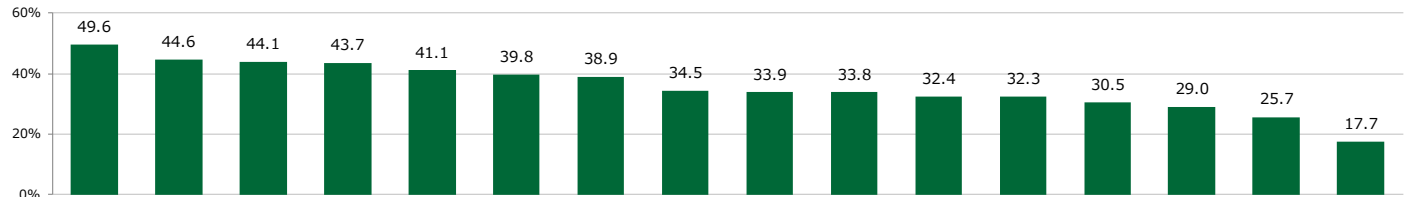
(※n=30未満は参考値として扱う)

仕事観

- 仕事観については「自分は、仕事を選ぶとき、職場の雰囲気や人間関係を特に重視する」(49.6%)が最多。次いで、「自分は、仕事を選ぶとき、残業が少ないことや休日を取りやすいことを特に重視する」(44.6%)、「自分は、仕事を選ぶとき、給与の高さを特に重視する」(44.1%)、「自分は、仕事を選ぶとき、その意義ややりがいを特に重視する」(43.7%)と続く。
- 「高くはなくても、平均程度の年収があればよい」については男性が34.4%、女性が45.2%で差が見られた。

Q 以下の各項目について、あなた自身がどう感じるかを回答してください。正しいことか、正しくないことかは気にせずに、率直に回答してください。(各単一回答)

※「そう思う計」(「そう思う」+「ややそう思う」)のスコア掲載



全体		(n=1000)	49.6	44.6	44.1	43.7	41.1	39.8	38.9	34.5	33.9	33.8	32.4	32.3	30.5	29.0	25.7	17.7
性別	男性	(n=500)	45.2	44.2	40.6	42.0	41.6	34.4	40.4	36.6	34.4	34.8	33.8	33.0	32.2	31.4	27.2	20.8
	女性	(n=500)	54.0	45.0	47.6	45.4	40.6	45.2	37.4	32.4	33.4	32.8	31.0	31.6	28.8	26.6	24.2	14.6
親学歴	母親大卒	(n=230)	54.3	47.4	47.8	50.9	44.8	36.1	44.3	39.6	37.0	38.7	37.8	35.2	33.0	31.3	29.1	27.8
	父親大卒	(n=362)	55.8	52.2	48.9	50.3	45.9	41.2	43.9	38.7	39.2	38.7	35.9	37.3	35.1	31.5	31.5	23.5
	母親大学院卒	(n=14)	42.9	21.4	42.9	71.4	64.3	21.4	57.1	50.0	35.7	42.9	50.0	28.6	28.6	42.9	28.6	28.6
	父親大学院卒	(n=39)	59.0	56.4	51.3	59.0	59.0	35.9	48.7	43.6	43.6	48.7	43.6	43.6	41.0	43.6	41.0	28.2
	母親短大・専門学校卒	(n=246)	58.1	50.8	52.0	50.0	44.7	45.9	45.5	41.9	39.8	36.6	35.8	39.0	31.3	33.3	28.5	16.7
	父親短大・専門学校卒	(n=76)	56.6	52.6	50.0	44.7	38.2	51.3	47.4	38.2	40.8	28.9	43.4	32.9	31.6	34.2	21.1	11.8
職業	母親高専卒	(n=50)	60.0	52.0	58.0	62.0	42.0	52.0	50.0	38.0	36.0	42.0	34.0	46.0	40.0	26.0	34.0	20.0
	父親高専卒	(n=57)	56.1	45.6	47.4	56.1	49.1	42.1	45.6	42.1	31.6	36.8	28.1	45.6	33.3	33.3	31.6	22.8
	家族失業	(n=68)	58.8	44.1	52.9	47.1	57.4	39.7	45.6	48.5	42.6	45.6	50.0	30.9	22.1	47.1	32.4	20.6
	家族減給	(n=106)	66.0	61.3	61.3	48.1	55.7	49.1	53.8	41.5	41.5	38.7	42.5	37.7	31.1	39.6	32.1	17.9
	家族倒産	(n=31)	58.1	54.8	58.1	58.1	51.6	38.7	58.1	48.4	51.6	51.6	45.2	35.5	16.1	41.9	35.5	19.4
	家族失業・減給等経験 計	(n=156)	64.7	55.8	58.3	48.7	57.1	44.2	50.6	44.2	42.3	40.4	44.9	34.6	29.5	41.0	31.4	20.5
	専業主婦	(n=349)	62.5	52.4	55.6	55.9	49.0	47.6	47.3	41.5	40.7	40.1	37.2	40.7	38.1	33.5	28.7	18.9
	専業主夫	(n=3)	100.0	33.3	100.0	66.7	66.7	0.0	66.7	66.7	66.7	33.3	33.3	66.7	66.7	66.7	66.7	33.3
	専業主婦・主夫家庭 計	(n=351)	62.7	52.4	55.8	56.1	49.3	47.3	47.6	41.9	41.0	40.2	37.3	41.0	38.2	33.9	29.1	19.1
	分からない/当てはまるものはない	(n=288)	31.6	28.5	29.5	27.4	28.1	28.8	23.3	20.5	21.9	23.3	20.5	20.1	20.1	19.4	14.9	10.1

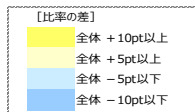
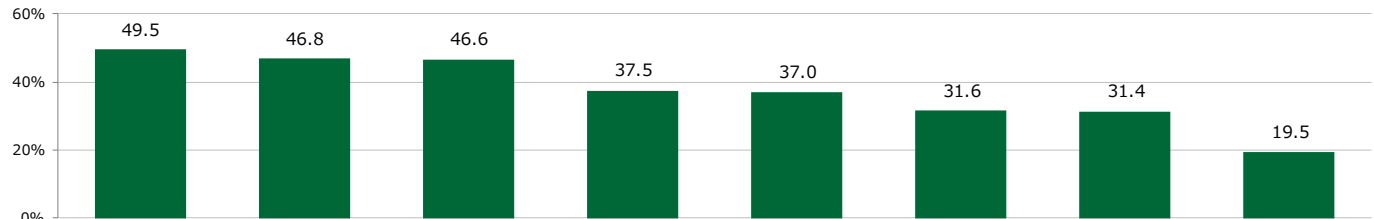
(※n=30未満は参考値として扱う)

プライベート

- プライベートについては、「趣味を充実させることは、自分の人生において優先度が高い」（49.5%）が最多。次いで、「仕事よりもプライベートを充実させたい」（46.8%）、「経済的に豊かになることは、自分の人生において優先度が高い」（46.6%）と続く。
- 「ボランティアや寄付によって社会に貢献することは、自分の人生において優先度が高い」は19.5%にとどまる。

Q 以下の各項目について、あなた自身がどう感じるかを回答してください。正しいことか、正しくないことかは気にせずに、率直に回答してください。（各単一回答）

※「そう思う計」（「そう思う」+「ややそう思う」）のスコア掲載



		趣味を充実させることは、自分の人生において優先度が高い	仕事よりもプライベートを充実させたい	経済的に豊かになることは、自分の人生において優先度が高い	友人関係を充実させることは、自分の人生において優先度が高い	家族関係（子ども、配偶者）を充実させることは、自分の人生において優先度が高い	恋愛関係を充実させることは、自分の人生において優先度が高い	仕事を充実させることは、自分の人生において優先度が高い	ボランティアや寄付によって社会に貢献することは、自分の人生において優先度が高い
性別	全体 (n=1000)	49.5	46.8	46.6	37.5	37.0	31.6	31.4	19.5
	男性 (n=500)	49.2	46.2	46.6	36.0	36.0	33.6	30.8	19.6
	女性 (n=500)	49.8	47.4	46.6	39.0	38.0	29.6	32.0	19.4
親学歴・職業	母親大卒 (n=230)	53.9	48.7	52.2	40.0	40.9	33.5	36.5	21.3
	父親大卒 (n=362)	57.5	49.7	54.7	43.1	43.4	38.4	36.5	22.1
	母親大学院卒 (n=14)	42.9	35.7	50.0	35.7	42.9	35.7	57.1	7.1
	父親大学院卒 (n=39)	69.2	53.8	69.2	51.3	53.8	43.6	48.7	23.1
	母親短大・専門学校卒 (n=246)	58.1	52.0	56.5	44.3	43.9	38.6	35.8	20.3
	父親短大・専門学校卒 (n=76)	53.9	56.6	47.4	40.8	38.2	27.6	30.3	17.1
	母親高専卒 (n=50)	56.0	64.0	56.0	42.0	54.0	44.0	52.0	20.0
	父親高専卒 (n=57)	43.9	54.4	52.6	36.8	42.1	40.4	43.9	28.1
	家族失業 (n=68)	61.8	61.8	57.4	42.6	44.1	36.8	30.9	23.5
	家族減給 (n=106)	59.4	59.4	60.4	45.3	43.4	38.7	36.8	19.8
	家族倒産 (n=31)	64.5	67.7	61.3	45.2	35.5	32.3	32.3	35.5
	家族失業・減給等経験計 (n=156)	62.8	59.0	59.0	46.2	41.7	37.8	35.3	22.4
	専業主婦 (n=349)	63.0	59.0	59.0	47.0	44.1	39.0	39.5	19.5
	専業主夫 (n=3)	33.3	100.0	100.0	33.3	66.7	66.7	66.7	33.3
専業主婦・主夫家庭計 (n=351)	63.0	59.3	59.3	47.0	44.4	39.3	39.9	19.7	
分からない/当てはまるものはない (n=288)	32.6	31.3	27.1	24.3	23.3	19.4	18.4	15.3	

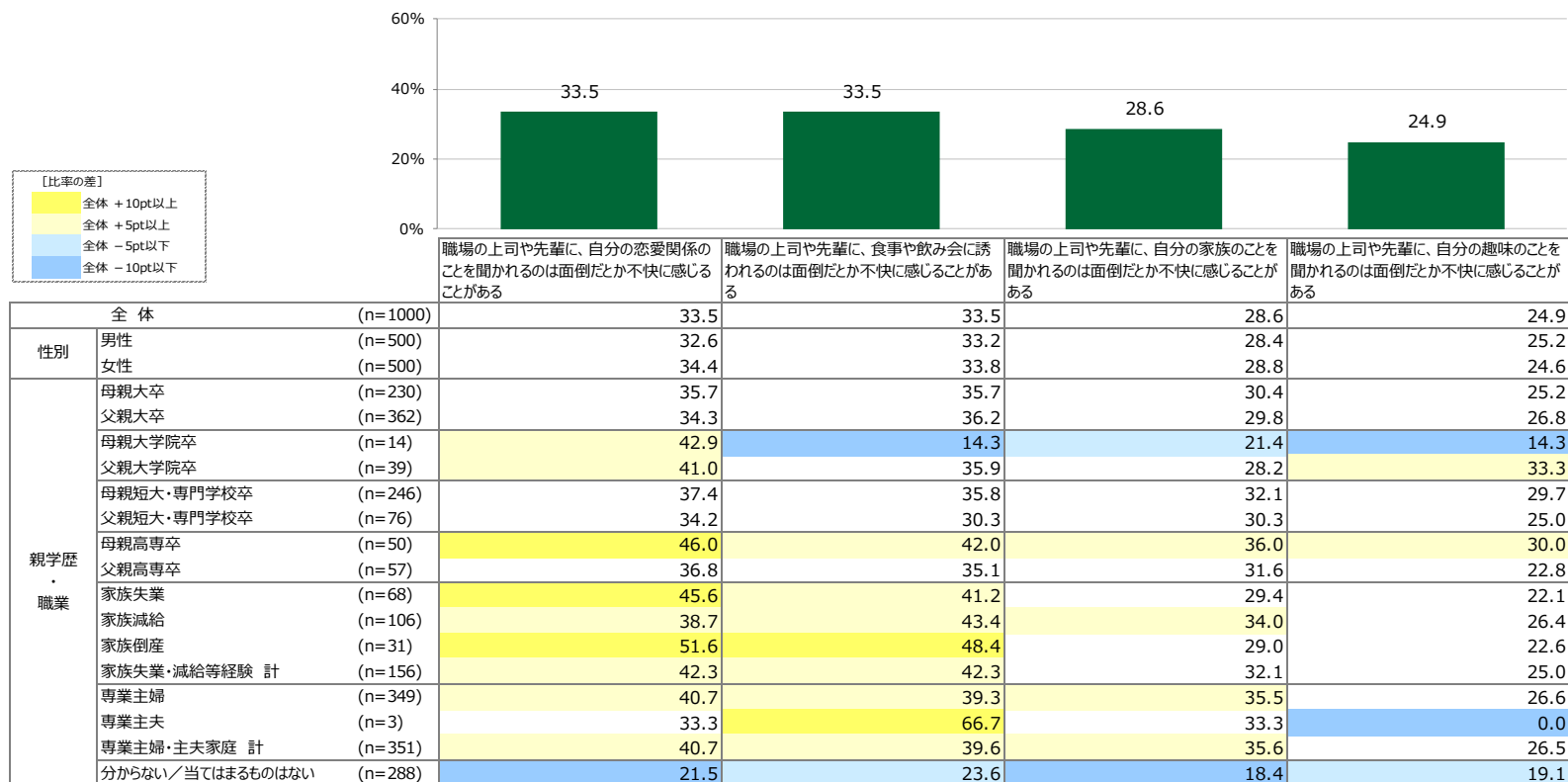
(※n=30未満は参考値として扱う)

コミュニケーション

- コミュニケーションについては「職場の上司や先輩に、自分の恋愛関係のことを聞かれるのは面倒だとか不快に感じることもある」、「職場の上司や先輩に、食事や飲み会に誘われるのは面倒だとか不快に感じることもある」がいずれも33.5%。

Q 以下の各項目について、あなた自身がどう感じるかを回答してください。正しいことか、正しくないことかは気にせず、率直に回答してください。（各単一回答）

※「そう思う計」（「そう思う」＋「ややそう思う」）のスコア掲載

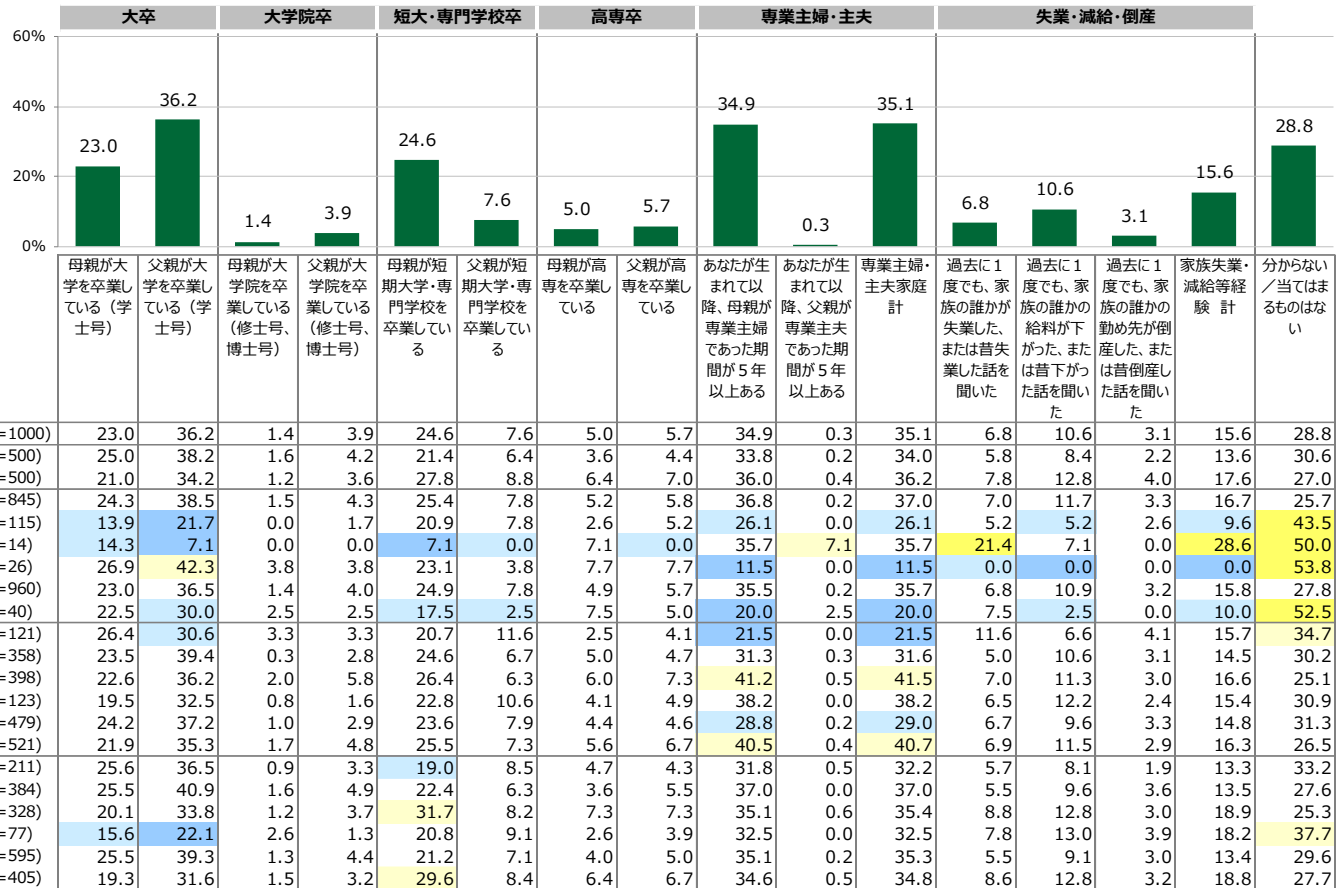


(※n=30未満は参考値として扱う)

親の学歴・職業

- 親の学歴や職業については、「父親が大学を卒業している」（36.2%）、「あなたが生まれて以降、母親が専業主婦であった期間が5年以上ある」（34.9%）が多い。また、家族が失業、減給、倒産のいずれかを経験した割合は、15.6%。

Q 以下のうち、当てはまるものを全て選択してください。



(※n=30未満は参考値として扱う)

回答者プロフィール 1/2

■ 性年代

		(%)						
		男性 17歳	男性 18歳	男性 19歳	女性 17歳	女性 18歳	女性 19歳	
全体	(n=1000)	16.6	16.7	16.7	16.6	16.7	16.7	
性別	男性	(n=500)	33.2	33.4	33.4	0.0	0.0	0.0
	女性	(n=500)	0.0	0.0	0.0	33.2	33.4	33.4
通っている 学校 (または 最終学歴)	小学校	(n=0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	中学校	(n=15)	6.7	6.7	13.3	20.0	13.3	40.0
	高校	(n=617)	25.3	20.6	3.2	25.9	21.2	3.7
	高専	(n=19)	21.1	42.1	10.5	10.5	10.5	5.3
	専門学校	(n=53)	0.0	17.0	28.3	0.0	18.9	35.8
	短期大学	(n=15)	0.0	0.0	13.3	0.0	6.7	80.0
	4年制大学	(n=258)	0.0	8.5	46.1	0.0	7.8	37.6
その他	(n=23)	21.7	0.0	30.4	4.3	4.3	39.1	
2022年4月 からの 成人年齢 引き下げ認知	知っていた	(n=845)	16.3	16.6	15.6	17.0	17.5	16.9
	なんとなく知っていた	(n=115)	16.5	15.7	22.6	13.9	13.9	17.4
	あまり知らなかった	(n=14)	14.3	35.7	21.4	14.3	0.0	14.3
	知らなかった	(n=26)	26.9	15.4	23.1	15.4	11.5	7.7
	知っていた 計	(n=960)	16.4	16.5	16.5	16.7	17.1	17.0
知らなかった 計	(n=40)	22.5	22.5	22.5	15.0	7.5	10.0	
18歳の時点で 「成人」に ふさわしい 大人になった (なる) か	大人になった (なる)	(n=121)	24.8	24.8	20.7	9.9	11.6	8.3
	どちらかという大人になった (なる)	(n=358)	18.2	19.3	16.2	15.9	17.9	12.6
	どちらかという子どものまま	(n=398)	14.8	13.1	16.1	19.3	16.3	20.4
	子どものまま	(n=123)	9.8	13.0	16.3	16.3	19.5	25.2
	大人になった (なる) 計	(n=479)	19.8	20.7	17.3	14.4	16.3	11.5
子どものまま 計	(n=521)	13.6	13.1	16.1	18.6	17.1	21.5	
成人年齢 引き下げ への賛否	賛成	(n=211)	23.2	25.1	19.4	11.4	12.3	8.5
	どちらかという賛成	(n=384)	19.0	17.4	18.0	14.3	16.9	14.3
	どちらかという反対	(n=328)	9.5	11.3	14.6	24.1	17.7	22.9
	反対	(n=77)	16.9	13.0	11.7	10.4	23.4	24.7
	賛成 計	(n=595)	20.5	20.2	18.5	13.3	15.3	12.3
反対 計	(n=405)	10.9	11.6	14.1	21.5	18.8	23.2	
「裁判員制度」 の認知	知っていた	(n=569)	16.3	18.5	16.5	15.5	17.8	15.5
	なんとなく知っていた	(n=244)	17.2	13.9	17.6	16.0	15.6	19.7
	あまり知らなかった	(n=96)	14.6	16.7	18.8	21.9	11.5	16.7
	知らなかった	(n=91)	18.7	13.2	13.2	19.8	18.7	16.5
	知っていた 計	(n=813)	16.6	17.1	16.9	15.6	17.1	16.7
知らなかった 計	(n=187)	16.6	15.0	16.0	20.9	15.0	16.6	
「裁判員」 選任年齢が 18歳に 引き下げられる ことへの賛否	賛成	(n=197)	18.8	27.4	20.8	15.2	10.2	7.6
	どちらかという賛成	(n=294)	18.0	18.4	15.0	16.0	18.0	14.6
	どちらかという反対	(n=348)	12.6	10.6	18.1	18.4	18.7	21.6
	反対	(n=161)	19.9	13.7	11.8	15.5	18.0	21.1
	賛成 計	(n=491)	18.3	22.0	17.3	15.7	14.9	11.8
反対 計	(n=509)	14.9	11.6	16.1	17.5	18.5	21.4	
裁判員として 刑事裁判に 参加したいか	参加したい	(n=141)	15.6	29.1	22.0	8.5	12.1	12.8
	どちらかという参加したい	(n=140)	20.0	14.3	17.1	19.3	17.1	12.1
	どちらともいえない	(n=238)	15.5	20.2	15.5	12.6	18.1	18.1
	どちらかという参加したくない	(n=211)	16.1	12.3	15.6	19.4	19.4	17.1
	参加したくない	(n=270)	16.7	11.9	15.6	20.7	15.6	19.6
参加したい 計	(n=281)	17.8	21.7	19.6	13.9	14.6	12.5	
参加したくない 計	(n=481)	16.4	12.1	15.6	20.2	17.3	18.5	

回答者プロフィール 2/2

■ 性年代 ※学生（高校・専門・大学等全て）ベース

		(n=)	(%)					
			男性 17歳	男性 18歳	男性 19歳	女性 17歳	女性 18歳	女性 19歳
全体		(n=913)	17.5	17.5	15.3	17.7	17.4	14.5
性別	男性	(n=460)	34.8	34.8	30.4	0.0	0.0	0.0
	女性	(n=453)	0.0	0.0	0.0	35.8	35.1	29.1
通っている 学校	小学校	(n=0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	中学校	(n=0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	高校	(n=562)	27.8	21.5	0.0	28.5	22.2	0.0
	高専	(n=19)	21.1	42.1	10.5	10.5	10.5	5.3
	専門学校	(n=53)	0.0	17.0	28.3	0.0	18.9	35.8
	短期大学	(n=15)	0.0	0.0	13.3	0.0	6.7	80.0
	4年制大学	(n=258)	0.0	8.5	46.1	0.0	7.8	37.6
	その他	(n=6)	0.0	0.0	33.3	0.0	16.7	50.0
2022年4月 からの 成人年齢 引き下げ認知	知っていた	(n=785)	17.1	17.5	14.5	18.0	18.2	14.8
	なんとなく知っていた	(n=98)	18.4	16.3	20.4	15.3	15.3	14.3
	あまり知らなかった	(n=11)	18.2	36.4	18.2	18.2	0.0	9.1
	知らなかった	(n=19)	31.6	15.8	21.1	21.1	5.3	5.3
	知っていた 計	(n=883)	17.2	17.3	15.2	17.7	17.9	14.7
知らなかった 計	(n=30)	26.7	23.3	20.0	20.0	3.3	6.7	
18歳の時点で 「成人」に ふさわしい 大人になった (なる)か	大人になった(なる)	(n=114)	25.4	25.4	20.2	8.8	12.3	7.9
	どちらかという大人になった(なる)	(n=327)	18.7	20.2	15.0	17.1	18.3	10.7
	どちらかという子どものまま	(n=366)	15.8	13.7	14.5	20.8	17.2	18.0
	子どものまま	(n=106)	11.3	14.2	14.2	18.9	20.8	20.8
	大人になった(なる) 計	(n=441)	20.4	21.5	16.3	15.0	16.8	10.0
子どものまま 計	(n=472)	14.8	13.8	14.4	20.3	18.0	18.6	
成人年齢 引き下げ への賛否	賛成	(n=191)	24.6	26.2	17.3	12.0	13.1	6.8
	どちらかという賛成	(n=362)	19.9	18.0	16.9	14.6	17.1	13.5
	どちらかという反対	(n=292)	10.3	12.0	13.7	26.7	18.8	18.5
	反対	(n=68)	16.2	14.7	8.8	11.8	25.0	23.5
	賛成 計	(n=553)	21.5	20.8	17.0	13.7	15.7	11.2
反対 計	(n=360)	11.4	12.5	12.8	23.9	20.0	19.4	
「裁判員制度」 の認知	知っていた	(n=533)	16.5	19.5	15.6	16.1	18.0	14.3
	なんとなく知っていた	(n=220)	19.1	14.1	15.9	17.3	16.4	17.3
	あまり知らなかった	(n=81)	17.3	17.3	14.8	25.9	13.6	11.1
	知らなかった	(n=79)	20.3	13.9	12.7	21.5	20.3	11.4
知っていた 計	(n=753)	17.3	17.9	15.7	16.5	17.5	15.1	
知らなかった 計	(n=160)	18.8	15.6	13.8	23.8	16.9	11.3	
「裁判員」 選任年齢が 18歳に 引き下げられる ことへの賛否	賛成	(n=185)	18.9	28.6	20.0	15.7	10.8	5.9
	どちらかという賛成	(n=274)	19.0	19.3	12.8	16.8	18.6	13.5
	どちらかという反対	(n=308)	14.0	10.7	16.2	20.5	20.1	18.5
	反対	(n=146)	20.5	14.4	12.3	16.4	17.8	18.5
	賛成 計	(n=459)	19.0	23.1	15.7	16.3	15.5	10.5
反対 計	(n=454)	16.1	11.9	15.0	19.2	19.4	18.5	
裁判員として 刑事裁判に 参加したいか	参加したい	(n=135)	16.3	29.6	20.7	8.9	12.6	11.9
	どちらかという参加したい	(n=137)	19.7	14.6	16.8	19.7	16.8	12.4
	どちらともいえない	(n=210)	17.1	21.4	13.8	13.8	18.1	15.7
	どちらかという参加したくない	(n=196)	15.8	13.3	14.3	20.4	20.4	15.8
	参加したくない	(n=235)	18.7	12.3	13.6	23.0	17.4	14.9
	参加したい 計	(n=272)	18.0	22.1	18.8	14.3	14.7	12.1
参加したくない 計	(n=431)	17.4	12.8	13.9	21.8	18.7	15.3	

■ 性年代 ※就業者ベース

		(n=)	(%)					
			男性 17歳	男性 18歳	男性 19歳	女性 17歳	女性 18歳	女性 19歳
全体		(n=49)	6.1	8.2	32.7	6.1	6.1	40.8
性別	男性	(n=23)	13.0	17.4	69.6	0.0	0.0	0.0
	女性	(n=26)	0.0	0.0	0.0	11.5	11.5	76.9
最終学歴	小学校	(n=0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	中学校	(n=6)	16.7	0.0	0.0	33.3	16.7	33.3
	高校	(n=35)	0.0	11.4	40.0	0.0	5.7	42.9
	高専	(n=0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	専門学校	(n=0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	短期大学	(n=0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	4年制大学	(n=0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	その他	(n=8)	25.0	0.0	25.0	12.5	0.0	37.5
2022年4月 からの 成人年齢 引き下げ認知	知っていた	(n=35)	2.9	5.7	28.6	5.7	5.7	51.4
	なんとなく知っていた	(n=10)	10.0	10.0	50.0	10.0	10.0	10.0
	あまり知らなかった	(n=1)	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	知らなかった	(n=3)	33.3	0.0	33.3	0.0	0.0	33.3
	知っていた 計	(n=45)	4.4	6.7	33.3	6.7	6.7	42.2
知らなかった 計	(n=4)	25.0	25.0	25.0	0.0	0.0	25.0	
18歳の時点で 「成人」に ふさわしい 大人になつた (なる)か	大人になった(なる)	(n=5)	20.0	0.0	20.0	40.0	0.0	20.0
	どちらかという大人になった(なる)	(n=19)	5.3	15.8	42.1	0.0	5.3	31.6
	どちらかという子どものまま	(n=16)	6.3	6.3	18.8	6.3	12.5	50.0
	子どものまま	(n=9)	0.0	0.0	44.4	0.0	0.0	55.6
	大人になった(なる) 計	(n=24)	8.3	12.5	37.5	8.3	4.2	29.2
子どものまま 計	(n=25)	4.0	4.0	28.0	4.0	8.0	52.0	
成人年齢 引き下げ への賛否	賛成	(n=12)	8.3	8.3	33.3	8.3	0.0	41.7
	どちらかという賛成	(n=10)	0.0	10.0	40.0	10.0	10.0	30.0
	どちらかという反対	(n=20)	0.0	10.0	25.0	5.0	10.0	50.0
	反対	(n=7)	28.6	0.0	42.9	0.0	0.0	28.6
	賛成 計	(n=22)	4.5	9.1	36.4	9.1	4.5	36.4
反対 計	(n=27)	7.4	7.4	29.6	3.7	7.4	44.4	
「裁判員制度」 の認知	知っていた	(n=21)	9.5	0.0	38.1	4.8	9.5	38.1
	なんとなく知っていた	(n=12)	0.0	25.0	16.7	8.3	8.3	41.7
	あまり知らなかった	(n=11)	0.0	9.1	45.5	0.0	0.0	45.5
	知らなかった	(n=5)	20.0	0.0	20.0	20.0	0.0	40.0
知っていた 計	(n=33)	6.1	9.1	30.3	6.1	9.1	39.4	
知らなかった 計	(n=16)	6.3	6.3	37.5	6.3	0.0	43.8	
「裁判員」 選任年齢が 18歳に 引き下げられる ことへの賛否	賛成	(n=10)	10.0	0.0	40.0	10.0	0.0	40.0
	どちらかという賛成	(n=11)	0.0	9.1	27.3	9.1	18.2	36.4
	どちらかという反対	(n=20)	0.0	15.0	40.0	5.0	0.0	40.0
	反対	(n=8)	25.0	0.0	12.5	0.0	12.5	50.0
	賛成 計	(n=21)	4.8	4.8	33.3	9.5	9.5	38.1
反対 計	(n=28)	7.1	10.7	32.1	3.6	3.6	42.9	
裁判員として 刑事裁判に 参加したいか	参加したい	(n=4)	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	50.0
	どちらかという参加したい	(n=1)	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
	どちらともいえない	(n=17)	0.0	17.6	35.3	5.9	5.9	35.3
	どちらかという参加したくない	(n=10)	20.0	0.0	40.0	10.0	10.0	20.0
	参加したくない	(n=17)	5.9	5.9	23.5	5.9	0.0	58.8
	参加したい 計	(n=5)	0.0	0.0	40.0	0.0	20.0	40.0
参加したくない 計	(n=27)	11.1	3.7	29.6	7.4	3.7	44.4	